



桃山学院大学
St. Andrew's University

保 健 室 年 報

第 30 号

(2025 年 度)

桃 山 学 院 大 学 学 生 支 援 課 保 健 室

序 言

学 生 生 活 委 員 長

角 谷 嘉 則

2025 年度は、人間教育学部が設置されてキャンパス移転も実施されましたし、キャンパス内に地域の方々と学生が集い学びあうことを目的としてエレノア館が開館するなど、キャンパス内の学生数が増加し、学生たちの滞留時間も伸びていると考えられます。

桃山学院大学保健室は、このような学生数の増加や滞留時間の伸びにも対応しながら、学生および教職員の健康維持を図ることを目的として、本学の保険管理および安全衛生管理に関する業務に取り組んでいます。

保健室には学生や教職員の健康維持のため、さまざまなリスク管理が求められています。例えば、2019 年度の Covid-19 パンデミックは記憶に新しいですが、保健室はさまざまな感染症危機管理対策/対応にも努めてきました。その他にも、新入生健康アンケートでは、予防接種の有無、既往歴、障がい、アレルギーの原因物質などの回答を得ており、体育会クラブアンケートでは、心電図検査・胸部検査での異常、家族歴・親族歴、スポーツ歴、スポーツによる外傷などの回答を得て突然死や後遺症などへの対策を講じています。

学生および教職員の健康診断は、学生は 4 月に実施しており、教職員は 11 月に実施しています。また、学生の保健室の利用は健康相談・静養室利用が多い傾向があり、教職員の利用は健康相談・内科検診が多い傾向にあります。

以上を含む 2025 年度の取り組みを、ここに『保健室年報(第 30 号)』として取りまとめました。本年報が学生および教職員の健康管理と健康増進のための支援体制の整備と充実に向けての一助となることを願っております。

最後になりますが、本年報の発行にあたり、ご尽力いただきました関係者各位に心より感謝申し上げます。

はじめに

桃山学院大学 学医

医学博士 泉谷 良

ウェアラブルデバイスが変える健康管理

最近、キャンパスでスマートウォッチを身につけている学生を見かけることが増えました。また、スマートフォンの健康管理アプリを使えば、歩数や睡眠時間、心拍数、さらにはストレス状態まで確認できる時代になっています。こうしたウェアラブルデバイスは、私たちの健康管理の方法だけでなく、医療そのものにも大きな変化をもたらしています。特にZ世代の皆さんは、生まれたときからスマートフォンやデジタル機器が身近にある「デジタルネイティブ世代」です。体調に気になることがあればまず検索し、アプリで記録し、必要に応じてオンラインで相談することにも抵抗が少ないのではないのでしょうか。その感覚は、これからの医療にとって大きな力になるはずです。

これまでの医療は、病気になってから受診する「治療中心」の側面が強くありました。しかし、ウェアラブルデバイスの普及によって、体調の変化を早い段階で把握し、病気を未然に防ぐ「予防中心」の医療へと移りつつあります。

例えば、睡眠不足の蓄積や運動不足、ストレスの増加、不整脈の兆候など、日々の小さな変化に気づくことができれば、病気の予防や早期発見・早期対応につながります。

一方で、数字ばかりを気にしすぎないことも大切です。睡眠スコアや心拍数の変化に一喜一憂し、かえって不安を感じる人もいます。データは健康状態を知るための大切な手がかりですが、それだけで健康を判断できるわけではありません。これからの医療は、病院や診療所の中だけで完結するものではなく、日常生活の中へと広がっていきます。

テクノロジーを上手に活用し、味方につけながら日々の体調に少し目を向けてみてはいかがでしょうか。

－目次－

I	年間業務内容	1
II	学生の健康管理	3
1	定期健康診断	3
1)	定期健康診断実施要項	3
2)	定期健康診断受診状況及び事後措置	3
3)	新入生健康アンケート	7
2	体育会クラブ健康診断	12
1)	体育会クラブ健康診断実施要項	12
2)	体育会クラブ健康診断受診状況及び事後措置	13
3)	体育会クラブアンケート	18
3	保健室利用状況	21
1)	救急処置	21
2)	医療機関紹介状況	24
3)	健康診断・証明書発行状況	24
4)	実習参加の為の免疫証明書受け取り状況	25
III	教職員の健康管理	26
1	定期健康診断	26
1)	定期健康診断実施要項	26
2)	定期健康診断受診状況及び事後措置	26
2	保健室利用状況	30
1)	救急処置	30
IV	第63回全国大学保健管理研究集会 一般研究発表	32
1	教育実習生の麻しん・風しんの免疫に関する証明書	32
1)	はじめに	32
2)	アンケート結果	33
3)	考察	34

V 保健室便り <https://www.andrew.ac.jp/hoken/dayori/>

「2025 年新入生号 入学おめでとうございます」		2025 年 4 月
No.152	麻しんは世界で流行している感染症です	2025 年 4 月
No.153	5 月 31 日世界禁煙デー受動喫煙のない世界へ	2025 年 5 月
No.154	熱中症にご注意！	2025 年 6 月
No.155	秋学期の準備をしましょう	2025 年 9 月
No.156	インフルエンザの流行が始まっています	2025 年 10 月
No.157	食べ方の工夫低 GI 食品とは	2025 年 10 月
No.158	世界エイズデー12 月 1 日	2025 年 11 月
No.159	年末年始の健康管理	2025 年 12 月
No.160	花粉対策をはじめましょう	2026 年 2 月

I 年間 業務 内容

月	2025年度 保 健 室 業 務 内 容
4 月	新入生ガイダンス・学生証配布・スポーツ推薦入学者オリエンテーションにて体育会健康アンケート実施・回収（4/2） 新入生対象入学時健康アンケートWEB回答を事務システムへ変換・修正 入学式（4/3）於：フェニーチェ堺 救護室待機 保健室便り「入学おめでとうございます。2025年新入生号」発行 新入生入学時健康アンケート集計、学生面談 フレッシュヤーズキャンプ（4/8・4/9） 教職実習参加学生へ「MRワクチン接種証明書」に関してオリエンテーション（4/8） 入学時健康アンケート相談希望学生へ保健室案内等Mポートにてメール送信 学生定期健康診断実施（4/15～4/18） オープンキャンパスの為の待機（4/27） 定期健康診断結果受取 事後処置 呼出へ必要学生への対応（4/22） 健康診断証明書発行 保健室便りNo.152「麻しんは世界で流行している感染症です」発行
5 月	定期健康診断事後処置 定健未受診者への健康診断案内 体育会所属クラブ学生登録・カルテ作成 3年次生教職実習介護等体験参加者の麻しん風しん免疫に関する証明書確認 保健室便り No.153「5月31日 世界禁煙デー」発行 学生生活相談委員会提出資料作成（新入生の健康アンケート中間結果） 人間教育学部土曜日曜授業の救急箱準備について打ち合わせ（5/28） 学生生活相談委員会（5/28） 土曜授業 救急箱貸出（5/28） 健康診断証明書発行
6 月	中長期交換留学生の為の健康オリエンテーション（6/4 5限） 土曜授業 救急箱貸出（6/12）スポーツアカデミー 救急箱貸出（6/12） IWCのための健康オリエンテーション（6/13 5限） オープンキャンパスの為の待機（6/1・6/22） 夏期・グローバル研修の為の健康オリエンテーション（6/11 5限） ひとり暮らしの料理教室（6/26 家政実習室） 全教室・教室棟のトイレ・事務棟の消毒液の交換（6/16・17） 体育館・松尾寺グラウンド救急箱設置・AEDパッド交換（6/25） 保健室便りNo.154「熱中症にご注意！」発行 健康診断証明書発行
7 月	土曜授業 救急箱貸出（7/11）松尾寺グラウンド・1号館2Fエントランス・図書館AEDパッド交換 工学部学生の健康診断に関する打ち合わせ（7/16） オープンキャンパスの為の待機（7/20） 生活安全講習会（7/28）2025年度第一回学生相談・障がい学生支援委員会（7/30） 健康診断証明書発行
8 月	オープンキャンパスの為の待機（8/3・8/24） IWC 救急箱貸出（8/4） 健康診断証明書発行 JCSOS 海外留学生安全対策協議会 Web打ち合わせ 2025年度大阪府結核対策費補助金交付申請書作成し、和泉保健所経由で提出（8/19） 管理職研修 AED救急対応講習（8/26） 桃祭打ち合わせ（8/28） 2025年度全国大学保健管理協会 近畿地方部会 総会出席（8/29）
9 月	人間教育学部臨海実習 救急箱貸出（9/1） 入学前面談（9/8） チャペル事務室フィールドワーク 救急箱貸出（9/10） 全国大学保険管理研究集会出席（9/10～9/11） 2025年度桃祭実行委員構成員名簿に伴う健康管理表作成（9/13） オープンキャンパスの為の待機（9/14） 保健室便りNo.155「秋学期の準備をしましょう」発行 全教室・教室棟のトイレ等・各事務所管設置の消毒液の交換（9/16～9/19） 編・転入学選抜の為救護室待機（9/23） 健康診断証明書発行

月	2025年度 保 健 室 業 務 内 容
10月	桃祭実行委員対象AED講習会（10/3） 入学前面談（10/10） 2025年度定常業務予算見積書作成・提出（10/2） 総合型選抜専願制・外国人留学生等入試の為救護室待機（10/11） 職員健康診断（10/17～10/21） 保健室便りNo156「インフルエンザの流行が始まっています」発行 保健室便りNo157「食べ方の工夫低GI食品とは」発行 ひとり暮らしの料理教室（10/30家政実習室） 社会福祉実習指導室 救急箱貸出（10/30） 健康診断証明書発行
11月	教職員定期健康診断のデータ処理及び事後措置 教職員定期健康診断結果、有所見者の学医面談、紹介及び就労判定 シェイクアウト避難訓練実施（11/4） 桃祭実行委員と学祭時の救急対応について打ち合わせ（11/6） 土曜授業 救急箱貸出（11/7・14） スポーツオフィースAEDパッド交換（11/7） 学校推薦型選抜（公募制前期等）の為救護室待機（11/15・16） 桃祭実行委員会 救急箱貸出（11/19） 学生支援課宿泊用・ビーチカップ用 救急箱貸出（11/20・28） 桃祭の為の待機（11/21～11/23） 保健室便りNo158「世界エイズデー12月1日」発行 指定校等入試の為の救護室待機（11/30） 健康診断証明書発行
12月	2026年度インド異文化・ボランティア体験セミナー・ルワンダフィールドスタディ 健康オリエンテーション（12/1） 2026年度春期・グローバル研修健康オリエンテーション（12/3） 2026年度春期中・長期海外派遣の為の健康オリエンテーション（12/10） 2026年度入学者サイトへ健康アンケートを公開（12/9） 総合型選抜併願制入試の為の救護室待機（12/20） ひとり暮らしの料理教室開催（12/19家政実習室） オープンキャンパスの為の待機（12/21） 全教室・教室棟のトイレ等・各事務所管設置の消毒液の交換（12/23～1/6） 保健室便りNo159「年末年始の健康管理」発行 健康診断証明書発行
1月	結核対策費補助金事業実績報告書・結核に係る定期健康診断実施報告書保健所へ郵送（1/9） 大学入学共通テストの為救護室待機（1/17・18） 教務課集中授業 救急箱貸出（1/9） 冬期スポーツ集中講座（スキー）の為の救急箱貸出（1/26） 学生定期健康診断業者と打ち合わせ（1/28） 海外派遣（インド・カンボジア・ルアンダ・タイ）救急箱貸出（1/28） 総合型選抜入試の為の保健室待機（1/31） 健康診断証明書発行
2月	人間教育学部スキー実習 救急箱貸出（2/4） 一般入試前期等試験の為の保健室待機（2/9・10） 人間教育学部スキー実習の為の救急箱貸出（2/4） 2026年度新入生健康アンケートインポート開始（2/6） 体育会リーダーズトレーニングにおいて定健チラシ配布受診啓発（2/17） 保健室便りNo151「今年の花粉飛散量は増加」発行 国際センターのRA学生対象AED講習会（2/26） 健康診断証明書発行
3月	2025年第二回度学生相談・障がい学生支援委員会（3/19） 教室棟のトイレ等の消毒液交換 全教室の消毒液交換（3/26～3/27） 一般選抜後期等入試の為の救護室待機（3/11） 2026年新入生健康アンケートの事後措置（電話聴取） 2026年度定期健康診断のポスター設置 保健室AEDパッド交換 健康診断証明書発行

Ⅱ 学生の健康管理

Ⅰ 定期健康診断

学生の定期健康診断は、学校保健安全法に基づき実施し、疾病予防、異常の早期発見、健康の維持増進を図ることを目的としています。

Ⅰ) 定期健康診断実施要項

表 Ⅰ-Ⅰ 定期健康診断実施要項

実 施 対 象 者	実 施 項 目	実 施 期 間
新入生・編入生 2年次生・3年次生・大学院生	胸部X線直接撮影 身体計測(身長・体重・BMI・視力)	4月15日(火) ～ 4月18日(金)
4年次生以上 人間教育学部2年～4年生以上 社会学部ソーシャルデザイン学科 (3年次生)	胸部X線直接撮影 身体計測(身長・体重・BMI・視力) 内科検診・尿検査	
体育会所属クラブ部員 (入部予定者を含む)	胸部X線直接撮影 身体計測(身長・体重・BMI・視力) 内科検診・尿検査・心電図検査	

Ⅱ) 定期健康診断受診状況及び事後措置

① 胸部X線直接撮影結果

表 Ⅰ-2 学年別胸部X線受診状況及び結果

	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率 %	要 精 検 者 数	要 精 検 率 %	2 次 受 診 者 数
1 年 次 生	2226	2129	95.6	2	0.1	2
2 年 次 生	1900	1682	88.5	0	0	-
3 年 次 生	1877	1532	81.6	0	0	-
4 年 次 生	1804	1467	81.3	0	0	-
留 年 生	224	42	18.8	0	0	-
大 学 院 生	79	46	58.2	0	0	-
合 計	8110	6898	85.1%	2	0.03	2

表 1-3 胸部X線撮影有所見結果

	受診者数	定期健康診断結果			学医再読影後結果			要精検率%	受精密検査者数	受精密検査率%	要精検者最終判定	
		ほぼ正常B	経過観察C	要精査D	ほぼ正常B	経過観察C	要精査D				異状なしA	経過観察C
1 年 次 生	2129	21	0	3	22	0	2	0.09	2	100	1	1
2 年 次 生	1682	14	2	2	14	4	0	-	-	-	-	-
3 年 次 生	1532	5	1	2	5	3	0	-	-	-	-	-
4 年 次 生	1467	10	1	0	10	1	0	-	-	-	-	-
留 年 生	42	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
大 学 院 生	46	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	6898	50	4	7	51	8	2	0.03	2	100	1	1

② 内科検診・尿検査結果

表 1-4 ソーシャルデザイン学科・人間教育学部実習参加学生・4年生以上内科検診結果

	対象者数	受診者数	受診率%	有所見者数	有所見率%
2 年 次 生 介護福祉士実習参加学生15名 人間教育学部 277 名	292	282	96.6	2	0.7
3 年 次 生 社会福祉・介護福祉実習参加学生62名 人間教育学部 230 名	292	280	95.9	5	1.8
4 年 次 生	1804	1467	81.3	14	1.0
留 年 生	225	42	18.7	0	0
合 計	2613	2071	79.3	21	1.0

表1-5 内科有所見別精密検査結果

有所見内容	有所見者数	学医による再診後判定				未受診者	2次検査	最終判定	
		A 異常なし	B ほぼ正常	C 経過観察	D 要精査			経過観察	要治療
甲状腺肥大	12	6	4	-	1	1	1	-	1
心雑音	3	3	1	-	-	-	-	-	-
不整脈	3	3	-	-	-	-	-	-	-
リンパ節腫脹	1	1	-	-	-	-	-	-	-
結膜貧血	1	1	-	-	-	-	-	-	-
首腫瘍治療中	1	1	-	-	-	-	-	-	-
全体	21	15	5	0	1	1	1	0	1

表1-6 尿検査結果

	対象者	受診者	受診率%	1次陽性者		未受診者		精密検査結果					
				蛋白	糖	蛋白	糖	異常なし		経過観察		治療中	
								蛋白	糖	蛋白	糖	蛋白	糖
2年次生 介護福祉士実習参加学生 人間教育学部	292	282	96.6	13	0	3	-	9	-	-	-	1	-
3年次生 社会福祉・介護福祉士実習参加学生 人間教育学部	292	280	95.9	10	2	1	0	9	10	0	0	0	2
4年次生	1804	1467	81.3	62	1	31	0	30	0	1	1	0	0
留年	225	42	18.7	2	0	2	-	-	-	-	-	-	-
合計	2613	2071	79.26	87	3	37	0	48	0	1	1	1	2

③ 身体計測結果

図1-1 BMIによる判定（学生全体）

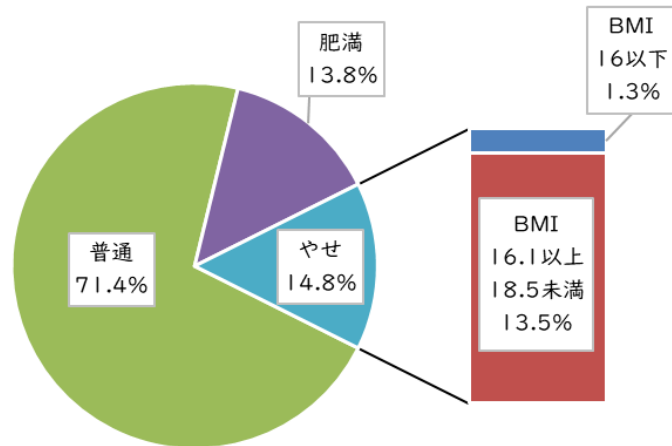


図1-2 BMIによる判定（男子）

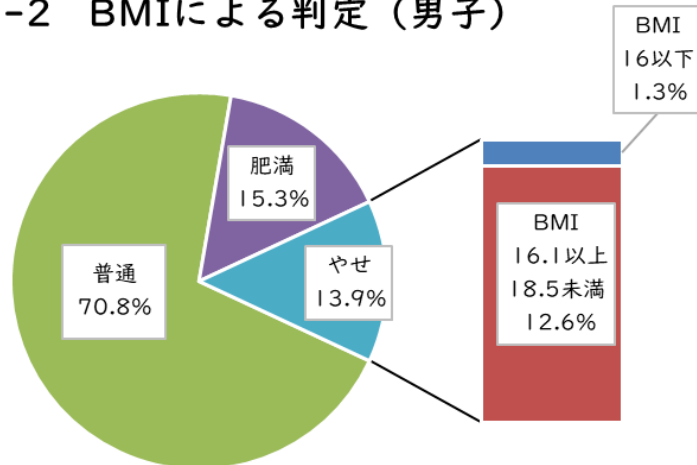
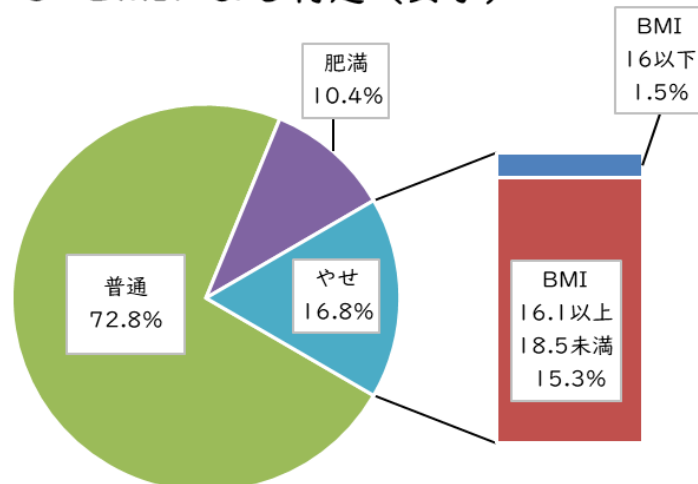


図1-3 BMIによる判定（女子）



3) 新入生健康アンケート

在学中の健康管理に役立てるため、入学時に健康アンケートを実施しています。

① アンケート実施要領

実施方法	対象者
「新入生合格者サイト」にて WEB 回答	新入生全員（編転入生、院生含む） 2,282 名

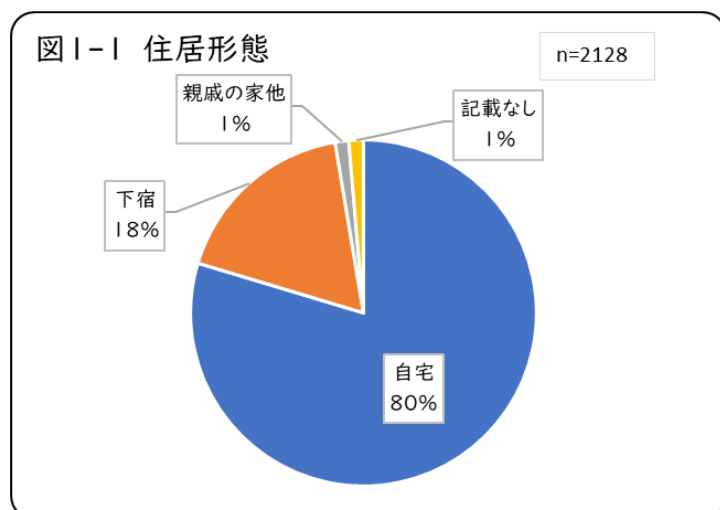
アンケート対象学生及び回収率

表 1-1 新入生・編入生・院生別回収率

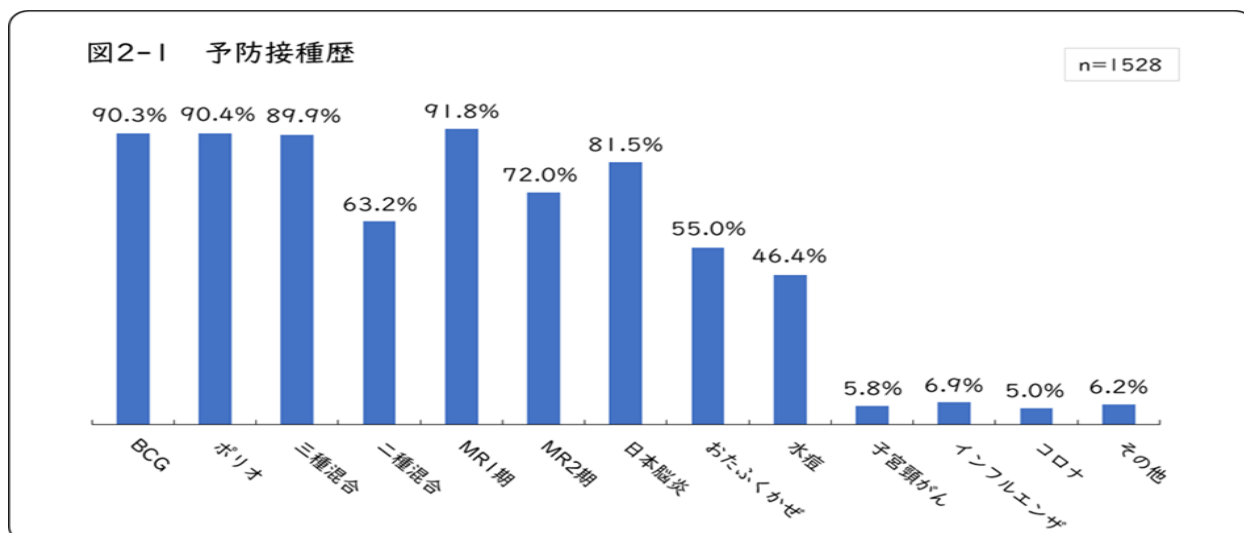
学部学科		対象者	回答者	回答率
経済学部		423	391	92.4%
社会学部	社会学科	299	278	93.0%
	ソーシャルデザイン学科	84	74	88.1%
経営学部		349	323	92.6%
国際教養学部		297	267	89.9%
法学部		232	216	93.1%
人間教育学部		322	309	96.0%
ビジネスデザイン学部		220	220	100%
編入生		19	15	78.9%
院生		37	35	94.6%
合計		2282	2128	93.3%

② 項目別データ

1. 住居形態 入学後に居住する住居形態をお答えください。

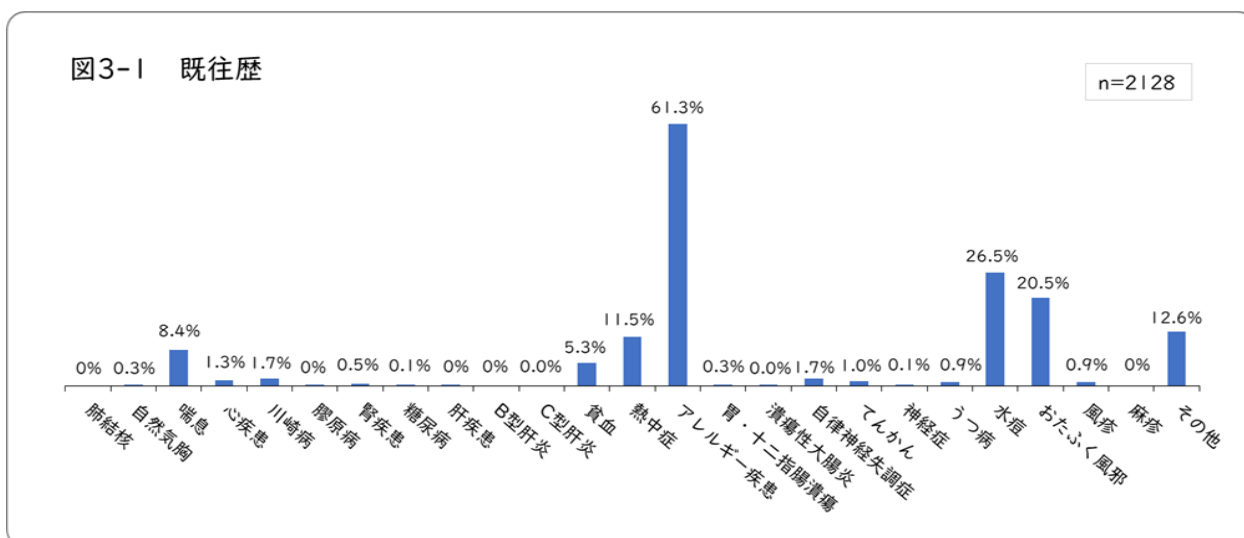


2. 予防接種 受けたことがある予防接種を母子手帳若しくは家族に確かめて正確にお答えください。



3. 既往歴

- i 今までに罹患したことのある病気について該当するものにチェックをして発病年齢を記入してください。



- ii 障がいについて該当する区分にチェックをして、該当する場合具体的な内容をお書き下さい。

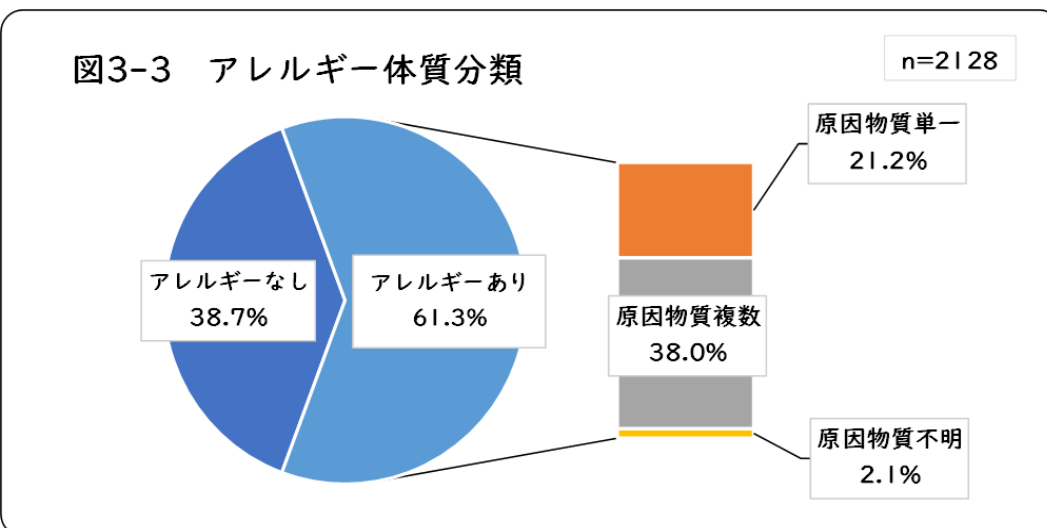
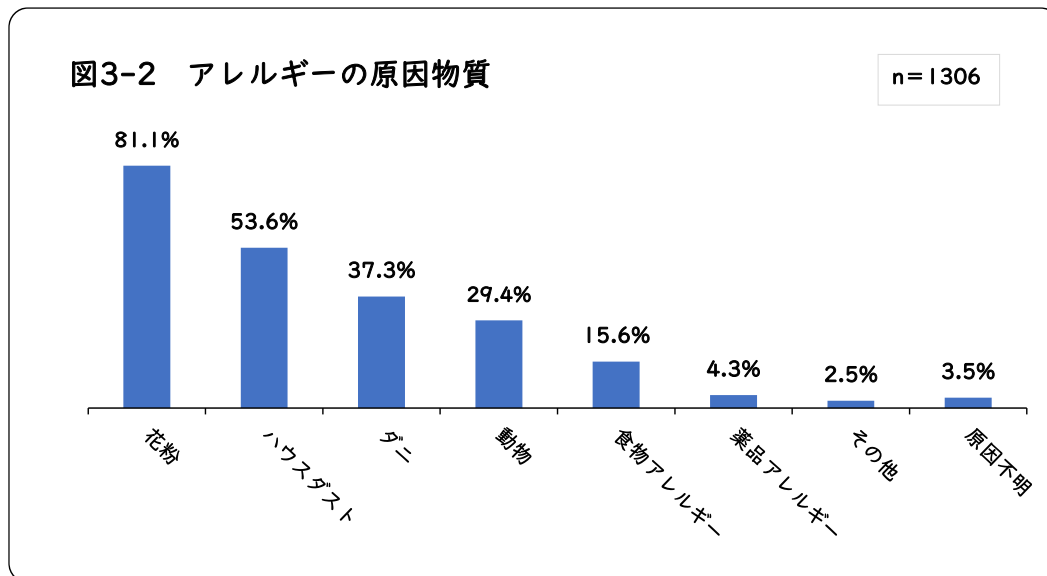
表 3-1 障がいについて

障がい種類	件数	障がい手帳あり
運動障がい	2	1
視覚障がい	8	1
聴覚障がい	8	0
言語障がい	1	0
心機能障がい	3	2
発達障がい	21	8
精神障がい	1	1
その他の障がい	0	0
合計	44	13

※手帳あり重複1名（心機能・発達）

iii アレルギー体質について

アレルギー体質の方は、アレルギー物質をお答えください。



4. 健康状況

i 最近1年間に感じたこと、気づいたことのある症状についてチェックをしてください。

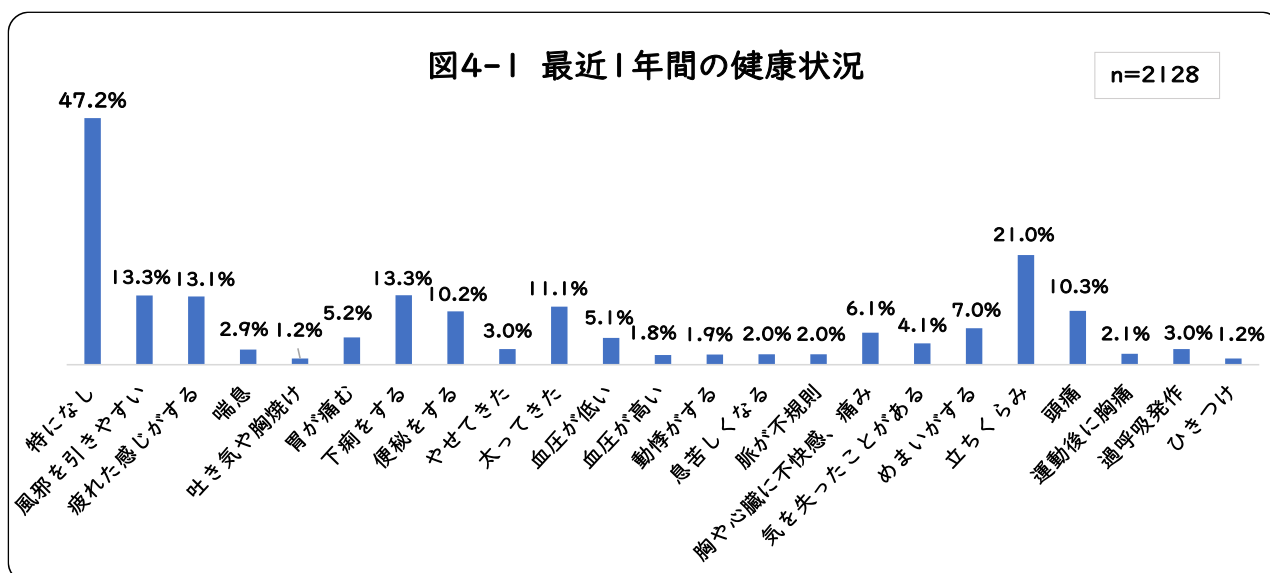
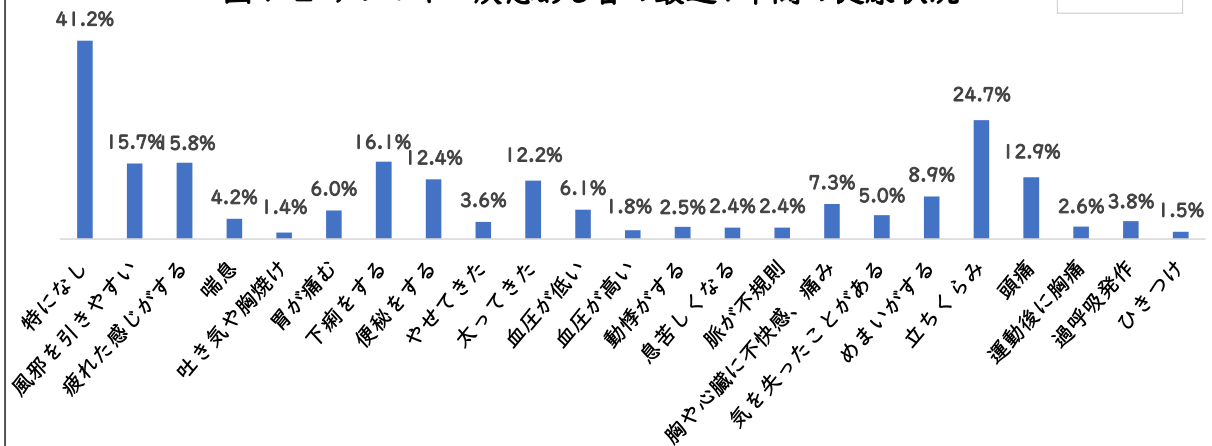


図4-2 アレルギー疾患ある者の最近1年間の健康状況

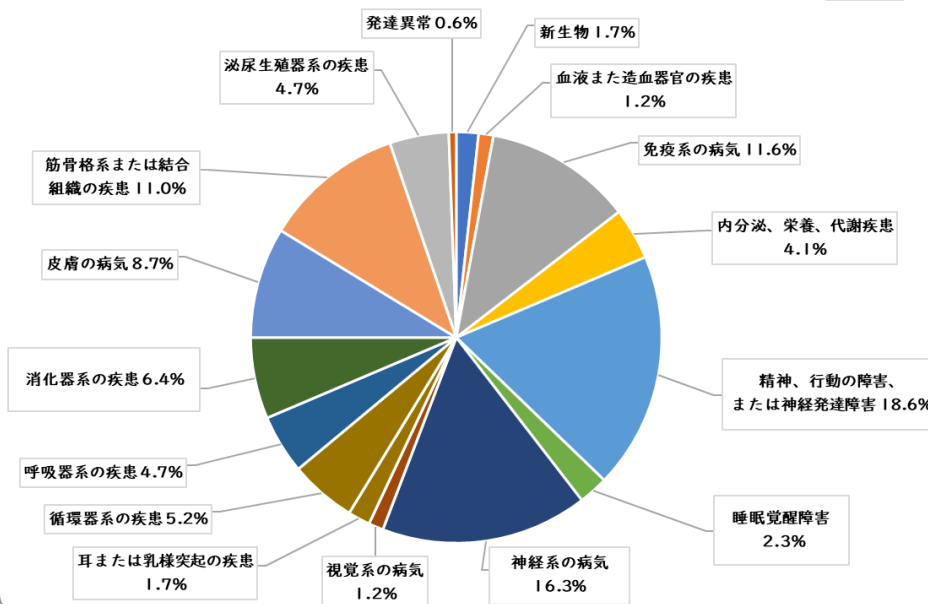
n=1306



ii 現在通院中の方は、病名、病院名をお書きください。

図4-3 現在治療中の疾患別割合

n=172



5. 保健室へ相談したいことはありますか以下の項目に該当するものがあればチェックしてください(複数回答可)

図5-1 相談内容

n=1103

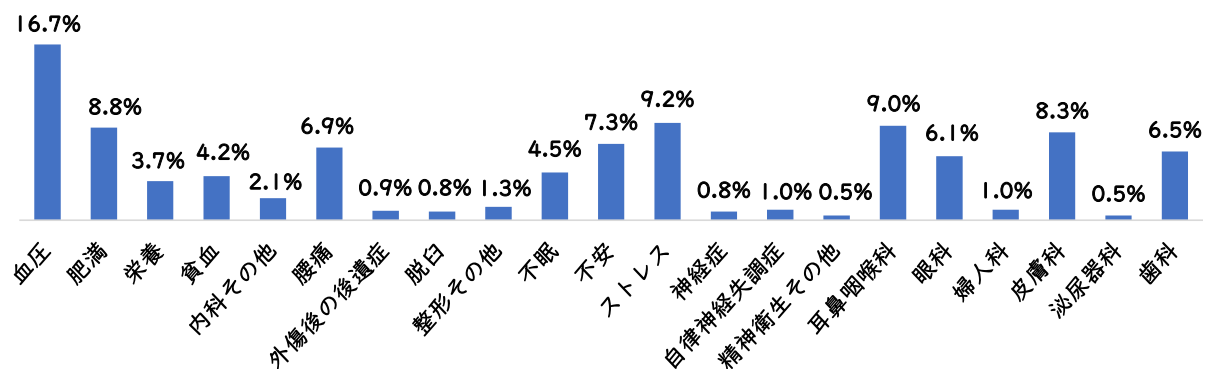


図5-2 相談内容の科目別割合

n=1103

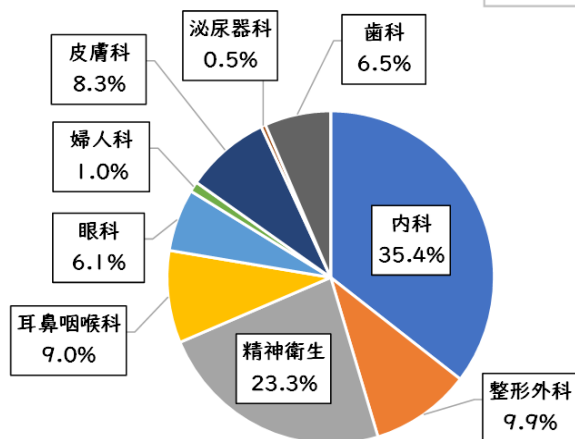


図5-3 相談内容（内科）

n=391

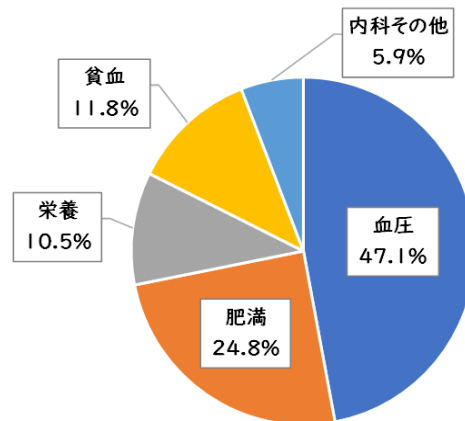


図5-4 相談内容（整形外科）

n=109

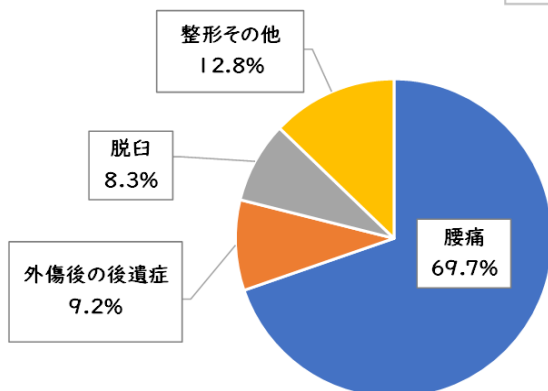


図5-5 相談内容（精神衛生）

n=257

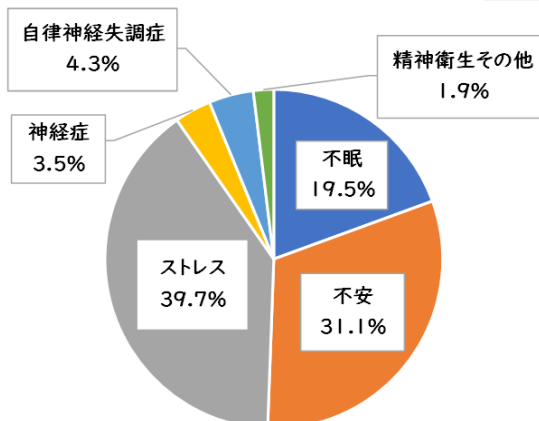


図5-6 相談内容（その他の項目）

n=346

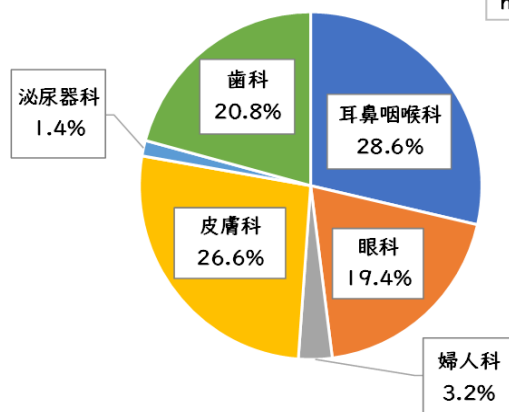
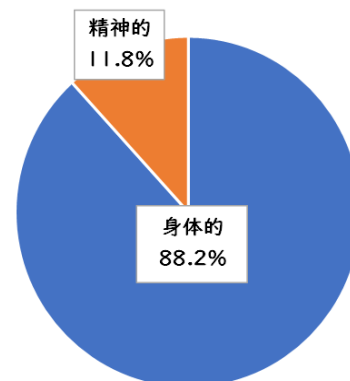


図5-7 その他入学後健康に関する心配

n=34



2 体育会クラブ健康診断

体育会クラブ所属学生は、毎年定期健康診断にて胸部X線撮影・身体計測・尿検査・内科検診・心電図検査を実施しています。

1) 体育会クラブ健康診断実施要項

表2-1 体育会健康診断実施要項

実施対象者	実施項目	実施期間
体育会所属クラブ学生 (入部予定者を含む)	胸部X線撮影・身体計測 心電図・尿検査・内科診察	4月15日～18日

2) 体育会クラブ健康診断受診状況及び事後処置

① 胸部X線撮影・心電図検査

表2-2 体育会所属クラブ検診受診状況

ク ラ ブ 名	部員数	定健 胸部X線	定健X線 受診率 (%)	外部X線	外部 受診率 (%)	合計 受診者 数	未受診 者	受診率 (%)
ア ー チ ェ リ ー 部	10	10	100	0	0	10	0	100
合 気 道 部	11	10	90.9	0	0	10	1	90.9
アメリカンフットボール部	77	77	100	0	0	77	0	100
空 手 道 部	10	10	100	0	0	10	0	100
弓 道 部	32	30	93.8	1	3.1	31	1	96.9
剣 道 部	10	9	90	0	0	9	1	90
硬 式 庭 球 部	12	11	91.7	0	0	11	1	91.7
硬 式 野 球 部	115	114	99	0	0	114	1	99.1
女 子 硬 式 野 球 部	28	28	100	0	0	28	0	100
ゴ ル フ 部	12	9	75.0	0	0	9	3	75
サ ッ カ ー 部	109	108	99.1	1	0.9	109	0	100
少 林 寺 拳 法 部	5	5	100	0	0	5	0	100
自 転 車 部	5	5	100	0	0	5	0	100
柔 道 部	25	22	88	0	0	22	3	88
ウエイトリフティング部	23	23	100	0	0	23	0	100
準 硬 式 野 球 部	27	26	96.3	0	0	26	1	96.3
水 泳 部	44	41	93.2	1	2.3	42	2	95.5
卓 球 部	11	11	100	0	0	11	0	100
ソ フ ト テ ニ ス 部	22	21	95.5	0	0	21	1	95.5
日 本 拳 法 部	13	13	100	0	0	13	0	100
バスケットボール部(男子)	45	45	100	0	0	45	0	100
バスケットボール部(女子)	33	33	100	0	0	33	0	100
バ ド ミ ニ ョ ン 部	19	18	94.7	0	0	18	1	94.7
男 子 バ レ ー ボ ール 部	39	39	100	0	0	39	0	100
女 子 バ レ ー ボ ール 部	15	15	100	0	0	15	0	100
ハ ン ド ボ ール 部	28	28	100	0	0	28	0	100
女 子 ハ ン ド ボ ール 部	4	4	100	0	0	4	0	100
ボ ウ リ ン グ 部	5	5	100	0	0	5	0	100
ボ ク シ ン グ 部	18	18	100	0	0	18	0	100
ラ グ ビ ー 部	18	17	94.4	0	0	17	1	94.4
陸 上 競 技 部	32	31	96.9	1	3.1	32	0	100
レ ス リ ン グ 部	11	11	100	0	0	11	0	100
ア イ ス ホ ッ ケ ー 部	27	26	96.3	0	0	26	1	96.3
ラ ク ロ ス 部 (男 子)	23	23	100	0	0	23	0	100
ラ ク ロ ス 部 (女 子)	4	4	100	0	0	4	0	100
チ ア ・ リ ー デ ィ ン グ 部	19	19	100	0	0	19	0	100
ア ル テ ィ メ ッ ト 部	12	12	100	0	0	12	0	100
軟 式 野 球 部	27	26	96.3	0	0	26	1	96.3
合 計	980	957	97.7	4	0.4	961	19	98.1

※ゴルフ部とボウリング部、ラグビー部とアイスホッケー部、自転車部とゴルフ部、レスリング部と柔道部
ソフトテニス部とサッカー部、剣道部とバスケットボール部、レスリング部と日本拳法部、男子ハンドボ
ール部と女子ハンドボール部 8 名それぞれ重複入部

表 2-3 体育会所属クラブ心電図受診状況

クラブ名	対象者数	Ⅰ次検査				
		受診者数	受診率 (%)	有所見者	要精検者	要精検率 (%)
ア ー チ ェ リ ー 部	10	10	100	0	-	-
合 気 道 部	11	9	81.8			-
アメリカンフットボール部	77	77	100	1	0	-
空 手 道 部	10	10	100	0	-	-
弓 道 部	32	32	100	0	-	-
剣 道 部	10	7	70			-
硬 式 庭 球 部	12	10	83.3			-
硬 式 野 球 部	115	115	100	0	-	-
女 子 硬 式 野 球 部	28	28	100	2	0	-
ゴ ル フ 部	12	9	75	1		-
サ ッ カ ー 部	109	109	100	2	0	-
少 林 寺 拳 法 部	5	5	100	0	-	-
自 転 車 部	5	4	80	1	0	-
柔 道 部	25	15	60			-
ウエイトリフティング部	23	23	100	0	-	-
準 硬 式 野 球 部	27	25	92.6			-
水 泳 部	44	37	84.1	1	0	-
卓 球 部	11	11	100	0	-	-
ソ フ ト テ ニ ス 部	22	20	90.9			-
日 本 拳 法 部	13	13	100	0	-	-
バスケットボール部（男子）	45	43	95.6			-
バスケットボール部（女子）	33	33	100	1	0	-
バ ド ミ ン ト ン 部	19	18	94.7			-
男 子 バ レ ー ボ ー ル 部	39	39	100	1	0	-
女 子 バ レ ー ボ ー ル 部	15	14	93.3			-
ハ ン ド ボ ー ル 部	28	28	100	2	0	-
女 子 ハ ン ド ボ ー ル 部	4	4	100	0	-	-
ボ ウ リ ン グ 部	5	5	100			-
ボ ク シ ン グ 部	18	18	100	1	0	-
ラ グ ビ ー 部	18	18	100	0	-	-
陸 上 競 技 部	32	32	100	0	-	-
レ ス リ ン グ 部	11	11	100	0	-	-
ア イ ス ホ ッ ケ ー 部	27	25	92.6			-
ラ ク ロ ス 部（男子）	23	23	100	0	-	-
ラ ク ロ ス 部（女子）	4	4	100	0	-	-
チア・リーディング部	19	19	100	0	-	-
ア ル テ ィ メ ッ ト 部	12	10	83.3			-
軟 式 野 球 部	27	27	100	0	-	-
合 計	980	940	95.9	13	0	0

※ゴルフ部とボウリング部、ラグビー部とアイスホッケー部、自転車部とゴルフ部、レスリング部と柔道部
ソフトテニス部とサッカー部、剣道部とバスケットボール部、レスリング部と日本拳法部、男子ハンドボ
ール部と女子ハンドボール部 8 名それぞれ重複入部

表2-4 心電図1次検査有所見内容

所 見 内 容	有所見者数	指導区分		
		A 異常なし	C 経過観察	D 要精査
心室期外収縮 高電位 (3-1) (3-3)	1	0	1	0
上室期外収縮 (1個) 変行伝導あり	3	0	3	0
左室肥大	1	0	1	0
WPW症候群 (B型含む)	4	0	4	0
房室解離 高電位	1	0	1	0
T波平低	1	0	1	0
ST-T異常	1	1	0	0
合 計	12	1	11	0

表2-5 体育会クラブ所属学生内科検診受診状況

クラブ名	対象者数	受診者数	受診率 (%)	有所見者 数	有所見率 (%)	未受診者 数
ア ー チ ェ リ ー 部	10	10	100	-	-	-
合 気 道 部	11	9	81.8		0.0	2
アメリカンフットボール部	77	77	100	1	1.3	-
空 手 道 部	10	9	90		0.0	1
弓 道 部	32	31	96.9	1	3.2	1
剣 道 部	10	9	90		0.0	1
硬 式 庭 球 部	12	11	91.7		0.0	1
硬 式 野 球 部	115	114	99.1	1	0.9	1
女 子 硬 式 野 球 部	28	28	100	-	-	-
ゴ ル フ 部	12	9	75		0.0	3
サ ッ カ ー 部	109	109	100	-	-	-
少 林 寺 拳 法 部	5	5	100	-	-	-
自 転 車 部	5	4	80		0.0	1
柔 道 部	25	16	64		0.0	9
ウェイトリフティング部	23	23	100	-	-	-
準 硬 式 野 球 部	27	25	92.6		0.0	2
水 泳 部	44	39	88.6	1	2.6	5
卓 球 部	11	10	90.9		0.0	1
ソ フ ト テ ニ ス 部	22	20	90.9		0.0	2
日 本 拳 法 部	13	13	100	-	-	-
バスケットボール部（男子）	45	44	97.8		0.0	1
バスケットボール部（女子）	33	33	100	-	-	-
バ ド ミ ン ト ン 部	19	18	94.7		0.0	1
男 子 バ レ ー ボ ー ル 部	39	39	100	1	2.6	-
女 子 バ レ ー ボ ー ル 部	15	15	100	-	-	-
ハ ン ド ボ ー ル 部	28	28	100	1	3.6	0
女 子 ハ ン ド ボ ー ル 部	4	4	100	-	-	-
ボ ウ リ ン グ 部	5	5	100		0.0	0
ボ ク シ ン グ 部	18	18	100	-	-	-
ラ グ ビ ー 部	18	17	94.4	1	5.9	1
陸 上 競 技 部	32	32	100	-	-	-
レ ス リ ン グ 部	11	11	100	-	-	-
ア イ ス ホ ッ ケ ー 部	27	25	92.6		0.0	2
ラ ク ロ ス 部（男子）	23	23	100	-	-	-
ラ ク ロ ス 部（女子）	4	4	100	-	-	-
チア・リーディング部	19	19	100	-	-	-
ア ル テ ィ メ ッ ト 部	12	12	100	-	-	-
軟 式 野 球 部	27	26	96.3		0.0	1
合 計	980	944	96.3	7	0.7	36

※ゴルフ部とボウリング部、ラグビー部とアイスホッケー部、自転車部とゴルフ部、レスリング部と柔道部
ソフトテニス部とサッカー部、剣道部とバスケットボール部、レスリング部と日本拳法部、男子ハンドボ
ール部と女子ハンドボール部 8 名それぞれ重複入部

表2-6 体育会クラブ所属学生内科検診有所見内容

所 見 内 容	有所見者数	指導区分		
		B 管理 不要	C 経過 観察	D 要精 査
リ　　ン　　パ　　節　　腫　　脹	1	0	0	0
甲　　状　　腺　　肥　　大	1	1	0	0
甲　　状　　腺　　腫　　大　　疑　　い	1	0	0	1
心　　　　　　雑　　　　　　音	3	1	1	0
不　　　　　　整　　　　　　脈	1	1	0	0
合　　　　　　　　計	7	3	1	1

表2-7 体育会クラブ所属学生尿検査

クラブ名	対象者数	受診者数	受診率%	1次陽性者		再検査者数	再検査率%	指導区分 (精検結果含む)		
				蛋白	糖			異常なし	経過観察	要治療
アーチェリー部	10	10	100	2	0	2	100	-	-	-
合気道部	11	9	81.8	1	0	1	100	1	-	-
アメリカンフットボール部	77	77	100	5	0	5	100	4	-	-
空手道部	10	10	100	1	0	1	100	1	-	-
弓道部	32	31	96.9	2	0	2	100	1	1	-
剣道部	10	9	90	0	0	-	-	-	-	-
硬式庭球部	12	11	91.7	0	0	-	-	-	-	-
硬式野球部	115	115	100	3	0	3	100	3	-	-
女子硬式野球部	28	28	100	0	0	-	-	-	-	-
ゴルフ部	12	9	75	0	0	-	-	-	-	-
サッカー部	109	109	100	10	0	10	100	9	-	-
少林寺拳法部	5	5	100	0	0	-	-	-	-	-
自転車部	5	4	80	0	0	-	-	-	-	-
柔道部	25	16	64	0	0	-	-	-	-	-
ウエイトリフティング部	23	23	100	2	0	2	100	1	-	-
準硬式野球部	27	25	92.6	0	0	-	-	-	-	-
水泳部	44	40	90.9	0	0	-	-	-	-	-
卓球部	11	10	90.9	0	0	-	-	-	-	-
ソフトテニス部	22	20	90.9	0	0	-	-	-	-	-
日本拳法部	13	13	100	0	0	-	-	-	-	-
バスケットボール部（男子）	45	44	97.8	0	0	-	-	-	-	-
バスケットボール部（女子）	33	33	100	1	0	1	100	1	-	-
バドミントン部	19	18	94.7	1	0	1	100	1	-	-
男子バレーボール部	39	39	100	2	0	2	100	2	-	-
女子バレーボール部	15	15	100	1	0	1	100	1	-	-
ハンドボール部	28	28	100	3	0	3	100	-	-	-
女子ハンドボール部	4	4	100	0	0	-	-	-	-	-
ボウリング部	5	5	100	0	0	-	-	-	-	-
ボクシング部	18	18	100	0	0	-	-	-	-	-
ラグビー部	18	18	100	0	0	-	-	-	-	-
陸上競技部	32	32	100	1	0	1	100	-	-	-
レスリング部	11	11	100	0	0	-	-	-	-	-
アイスホッケー部	27	25	92.6	1	0	1	100	1	-	-
ラクロス部（男子）	23	23	100	3	0	3	100	3	-	-
ラクロス部（女子）	4	4	100	1	0	1	100	1	-	-
チア・リーディング部	19	19	100	1	0	1	100	1	-	-
アルティメット部	12	12	100	1	0	1	100	1	-	-
軟式野球部	27	26	96.3	1	0	1	100	1	-	-
合 計	980	948	96.7	43	0	43	100%	42	1	0

※ゴルフ部とボウリング部、ラグビー部とアイスホッケー部、自転車部とゴルフ部、レスリング部と柔道部、ソフトテニス部とサッカー部、剣道部とバスケットボール部、レスリング部と日本拳法部、男子ハンドボール部と女子ハンドボール部 8 名それぞれ重複入部

3) 体育会クラブアンケート

スポーツ中の突然死は一般の突然死より発生頻度は高いが、健康診断では異常が無かったという人がほとんどであり、予防策を取ることが重要である。若年性の突然死は、先天性の心疾患、川崎病の後遺症、心筋梗塞、不整脈などの原因が考えられる。現在の医学でも致死的な不整脈、急性心筋梗塞を100%予測することは不可能であるが、スポーツ歴、既往歴、遺伝的な要因を考慮し健康管理に役立てるよう新入部員へアンケートを実施し、健康管理、健康相談に役立てている。

① アンケート実施要領

アンケート実施日	実施方法	対象者	回収率
6月15日・28日	ルーキーキャンプにて実施	体育会新入部員 321名	回答者 273名 85.0%

*重複登録2名あり、対象者・回答者には実数を記入

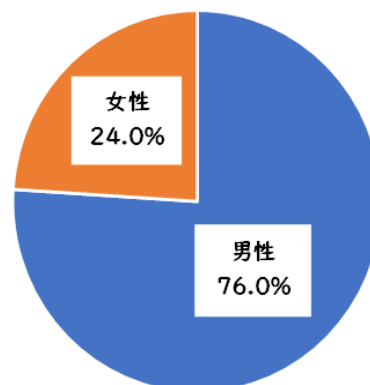
表1-1 体育会所属クラブ新入生健康アンケート実施状況

クラブ名	部員数	回収数	回収率(%)
アーチェリー部	3	0	0
合気道部	2	2	100
アメリカンフットボール部	21	21	100
空手道部	2	1	50
弓道部	10	10	100
剣道部	4	0	0
硬式庭球部	3	1	33.3
硬式野球部	60	59	98.3
女子硬式野球部	7	7	100
ゴルフ部	2	2	100
サッカー部	32	30	93.8
少林寺拳法部	3	3	100
自転車部	2	2	100
柔道部	5	2	40
ウエイトリフティング部	7	7	100
準硬式野球部	3	3	100
水泳部	12	7	58.3
卓球部	7	7	-
ソフトテニス部	5	3	60
日本拳法部	5	4	80
バスケットボール部(男子)	9	8	88.9
バスケットボール部(女子)	12	12	100
バドミントン部	6	6	100
男子バレーボール部	15	7	46.7
女子バレーボール部	5	4	80
ハンドボール部(男子)	10	10	100
ハンドボール部(女子)	4	4	100
ボウリング部	0	0	-
ボクシング部	9	9	100
ラグビー部	5	1	20
陸上競技部	12	12	100
レスリング部	5	5	100
アイスホッケー部	13	11	84.6
ラクロス部(男子)	9	5	55.6
ラクロス部(女子)	0	0	-
チア・リーディング部	6	6	100
アルティメット部	0	0	-
軟式野球部	6	2	33.3
合計	321	273	85.0

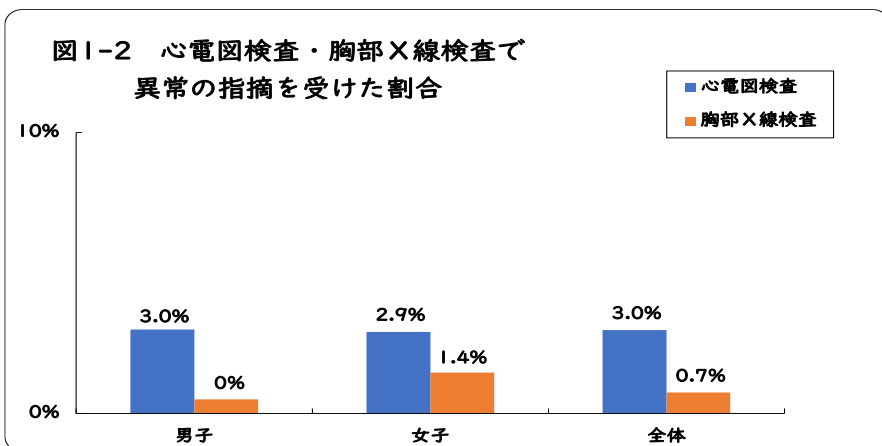
※対象者は新入生

男子ハンドボール部と女子ハンドボール部、レスリング部と日本拳法部重複入部2名あり

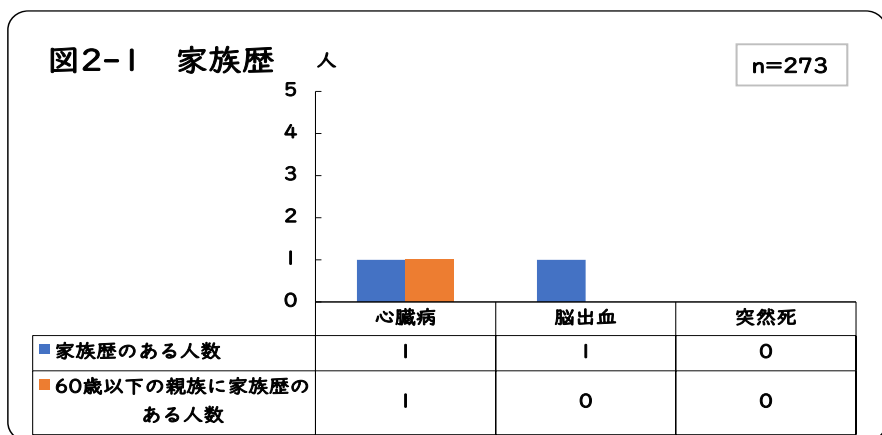
図1-1 クラブ男女比



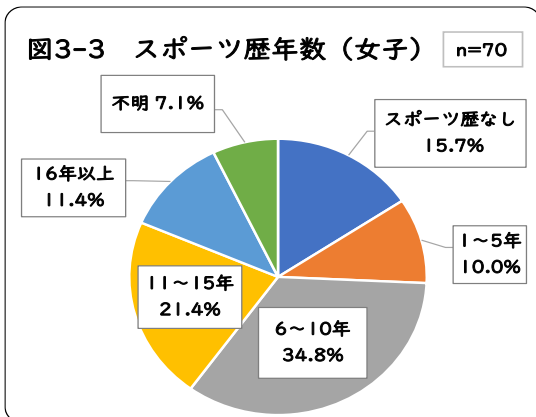
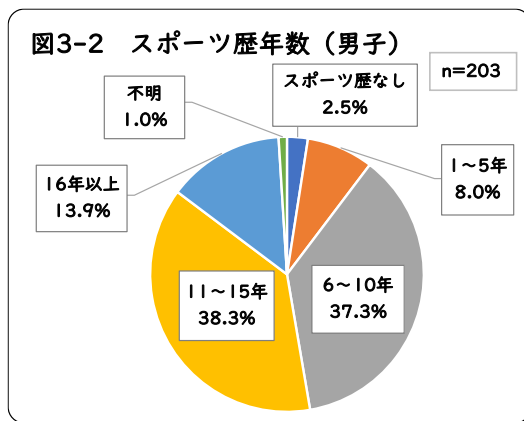
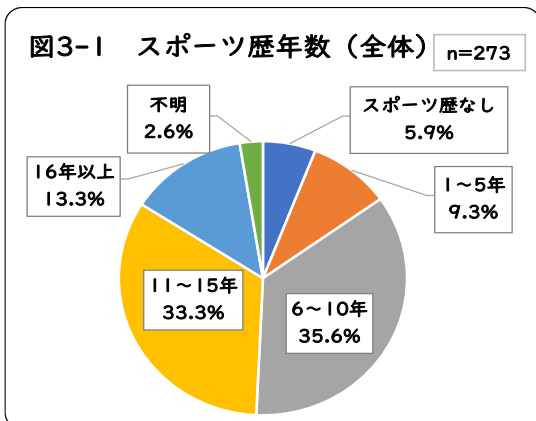
1. 既往歴 心電図検査・胸部X線検査で異常を指摘されたことがありますか



2. 家族歴 親族の方（両親・兄弟姉妹・祖父母・叔父・叔母）で下記の病気で治療中、または、お亡くなりになっている場合年齢もお書きください。



3. スポーツ歴 いつから、どんなスポーツをしていたかお尋ねします。



4. スポーツによる過去の外傷についてお尋ねします

① 病名・部位をお答え下さい。

図4-1 スポーツによる過去の外傷の割合

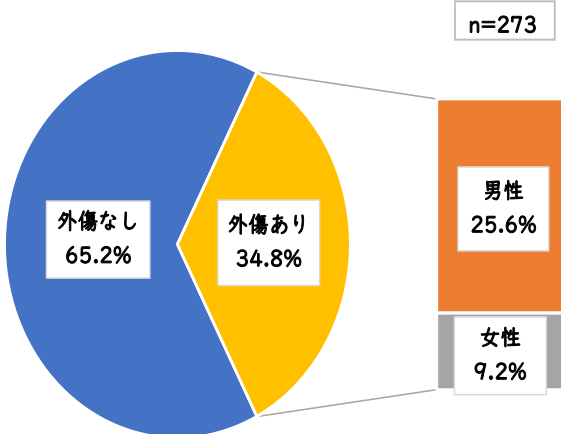


図4-2 スポーツによる過去の外傷・内容（全体）

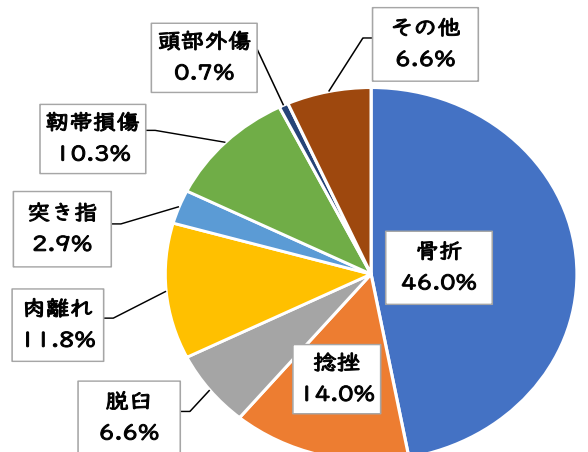


図4-3 スポーツによる過去の外傷・内容（男子）

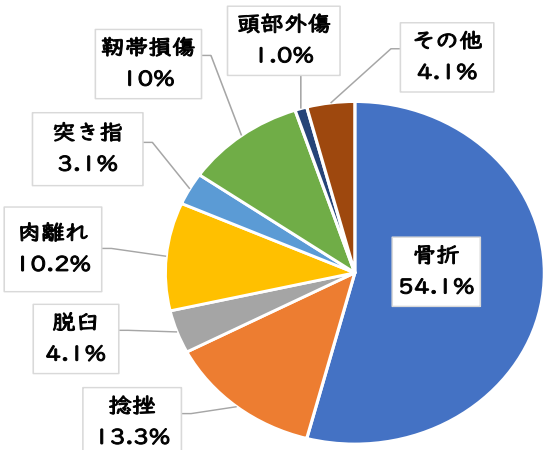
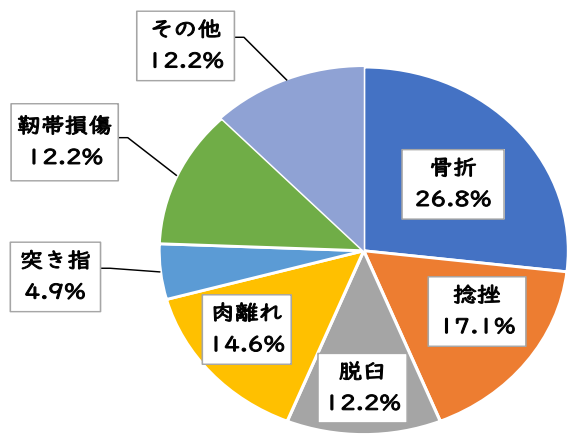


図4-4 スポーツによる過去の外傷・内容（女子）



② スポーツ障害による自覚症状の有無

図4-5 慢性スポーツ障害の有無

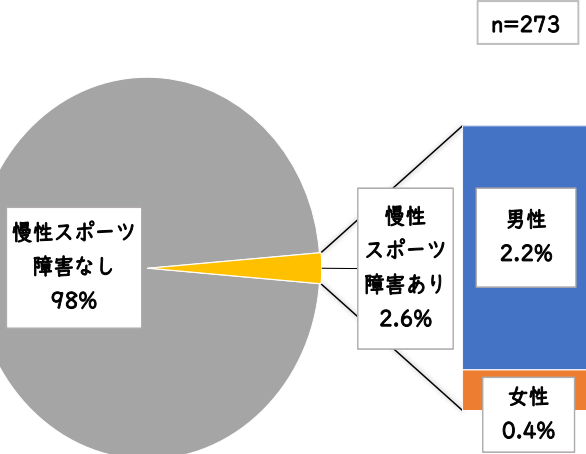
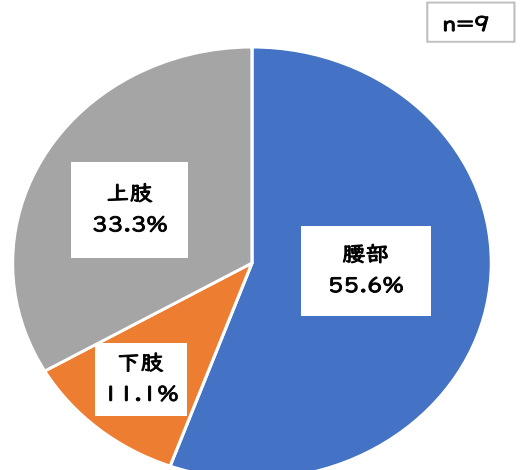


図4-6 スポーツ障害の部位



3 保健室利用状況

1) 救急処置

表3-1 学生月別保健室利用状況

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科		19	64	63	85	3	7	72	67	66	72	7	1	526
外 科		22	24	30	33	12	4	29	35	13	15	8	3	228
整 形 外 科		11	11	25	20	1	0	18	8	6	6	1	3	110
眼 科		0	2	1	2	0	0	0	1	2	0	0	0	8
耳 鼻 科		2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6
婦 人 科		4	5	4	5	0	1	6	0	0	0	0	0	25
皮 膚 科		1	3	4	7	0	2	5	2	4	1	0	0	29
口 腔 外 科		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
静 養 室 利 用		21	50	46	71	3	5	63	48	50	69	9	1	436
健康 相 談	身 体 的	545	156	155	184	35	35	144	182	186	151	75	3	1851
	精 神 的	17	16	22	23	1	7	13	15	3	2	2	38	159
医 療 機 関 へ の 紹 介		50	60	51	58	3	11	32	29	34	15	6	5	354
小 計		692	392	402	490	59	72	382	387	365	331	108	54	3734
内 科 検 診		24	55	81	74	0	3	14	16	4	2	0	0	273
ス ポ ー ツ 整 形 受 診		1	0	3	4	0	0	2	0	1	1	0	0	12
精 神 科 受 診		2	3	2	2	0	0	1	2	2	1	0	0	15
尿 検 査		25	27	50	115	6	6	14	5	2	4	4	2	260
心 電 図		5	5	22	40	0	0	1	0	1	0	0	0	74
合 計		749	482	560	725	65	81	414	410	375	339	112	56	4368

図3-1 学生月別処置件数

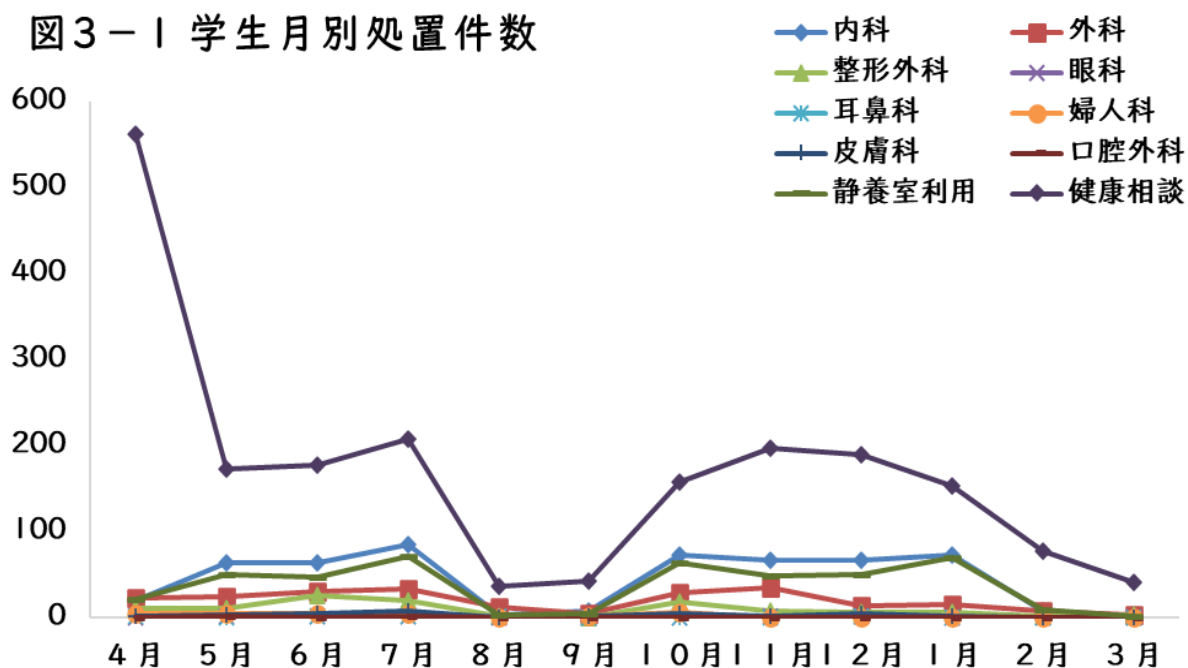


表3-2 学年別保健室利用状況

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	留年生	大学院生	計
内 科	164	107	88	156	5	6	526
外 科	66	100	41	16	3	2	228
整 形 外 科	52	28	14	14	2	0	110
眼 科	2	2	3	1	0	0	8
耳 鼻 科	3	1	2	0	0	0	6
婦 人 科	12	8	3	2	0	0	25
皮 膚 科	6	12	8	3	0	0	29
口 腔 外 科	1	0	0	1	0	0	2
静 養 室 利 用	113	96	65	153	6	3	436
健 康 相 談	647	628	400	298	30	7	2010
医 療 機 関 紹 介	131	56	80	76	6	5	354
合 計	1197	1038	704	720	52	23	3734

図3-2 疾患別の内訳

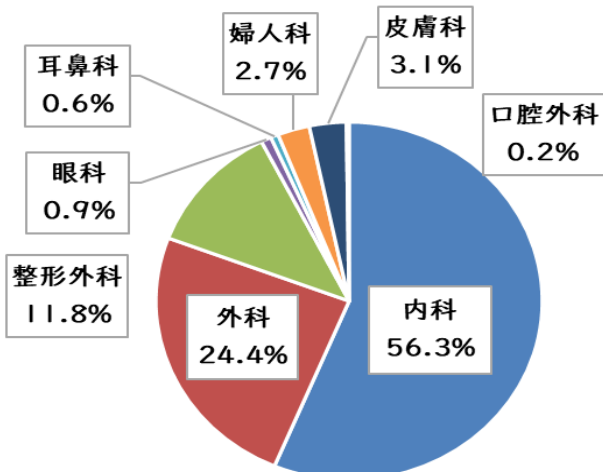


図3-3 内科的症状の内訳

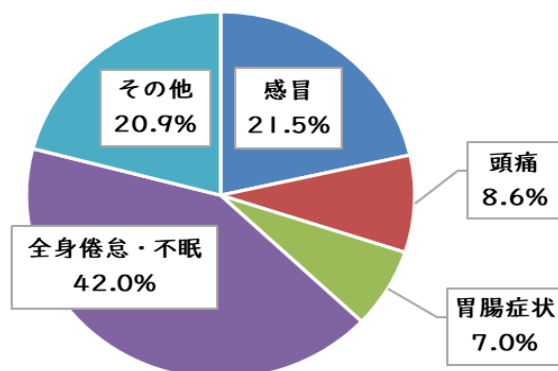


図3-4 外科的症状の内訳

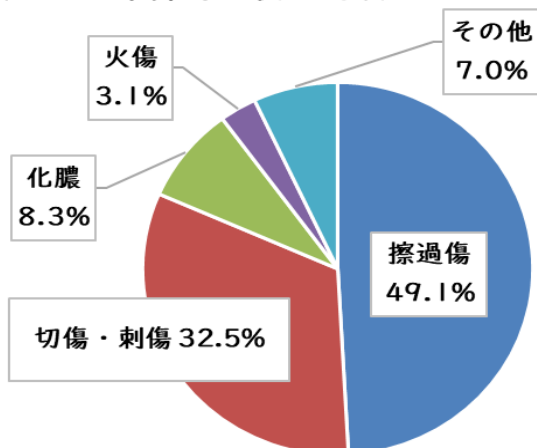


図3-5 整形外科的症状の内訳

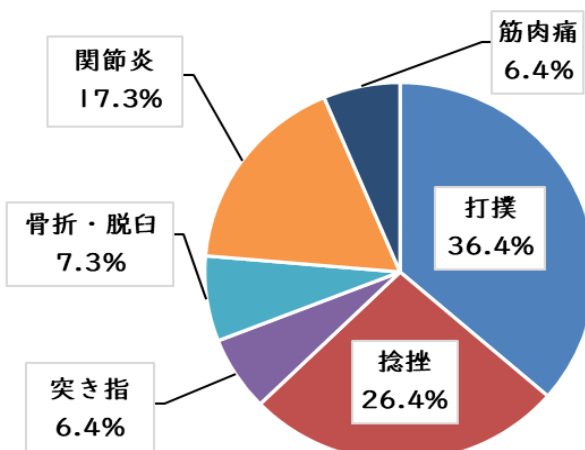


図3-6 学年別保健室利用状況

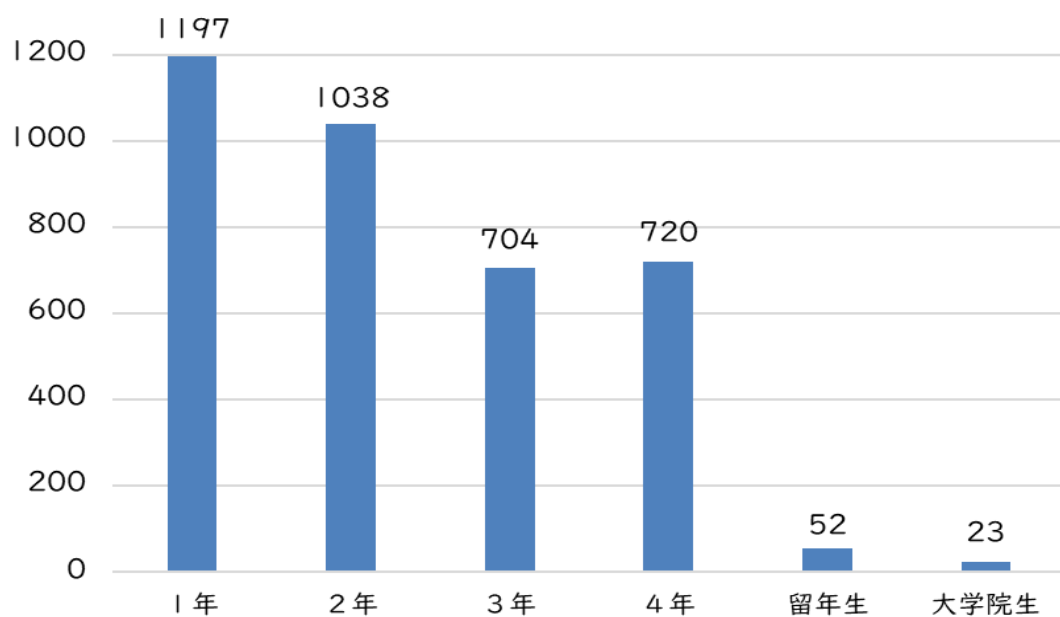
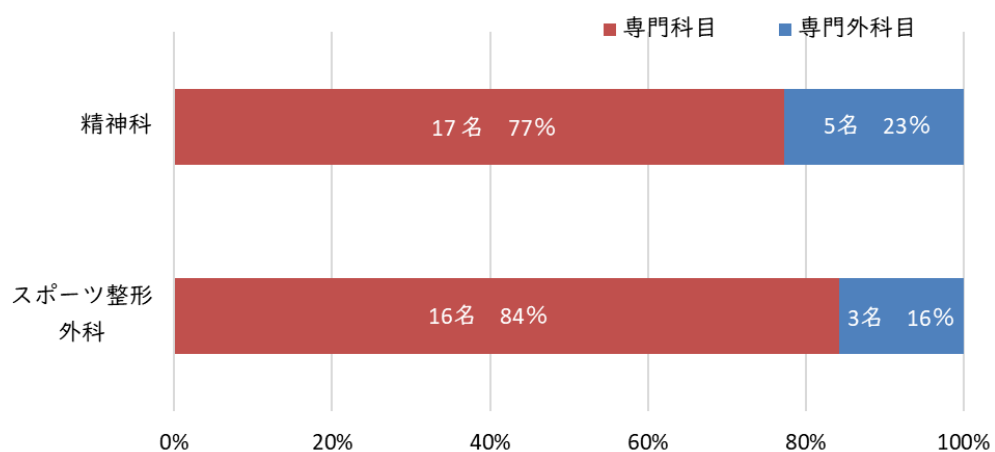


図3-7 スポーツ整形外科・精神科利用状況（学生・教職員含む）



2) 医療機関紹介状況

表 3-3 医療機関紹介状況

月別	区分	科別	外科	整形外科	内科	精神科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	脳外科	歯科	学生相談	計
4	学 生		0	4	27	2	0	1	0	1	0	0	0	15	50
	教職員		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5	学 生		0	4	52	1	0	0	1	1	0	0	0	1	60
	教職員		0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
6	学 生		0	7	40	2	1	0	0	0	0	0	0	1	51
	教職員		0	1	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	6
7	学 生		0	2	54	0	1	0	0	1	0	0	0	0	58
	教職員		0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
8	学 生		0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	学 生		1	1	5	1	0	1	0	1	0	0	0	1	11
	教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	学 生		1	5	19	2	0	1	0	2	0	0	1	2	33
	教職員		0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
11	学 生		0	6	12	4	2	1	1	2	0	1	0	0	29
	教職員		0	0	14	0	1	0	0	0	0	1	0	0	16
12	学 生		0	7	18	3	2	1	0	2	0	1	0	0	34
	教職員		0	6	8	2	0	0	0	1	0	0	1	0	18
1	学 生		0	5	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	15
	教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	学 生		3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	教職員		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3	学 生		0	1	2	0	0	0	0	1	0		0	1	5
	教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	学 生		5	43	242	15	6	5	3	11	0	2	1	24	357
	教職員		0	13	30	4	2	1	0	4	0	1	1	0	56
合 計			5	56	272	19	8	6	3	15	0	3	2	24	413

表3-6 体育会所属クラブ健康診断書発行状況

クラブ名	申込者	発行枚数
空 手 道 部	42	8
柔 道 部	5	2
ボ ク シ ン グ 部	21	
合 計	68	10

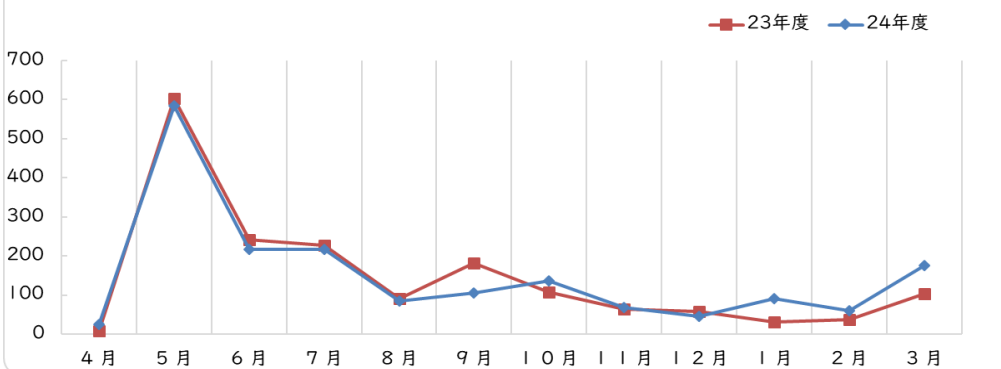
※ボクシングは選手手帳へ転記

3) 健康診断証明書発行状況

表 3-4 月別健康診断証明書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行機	0	475	208	143	137	118	119	38	77	105	53	124	1597
あべのサテライト	0	12	16	7	4	16	2	1	0	0	2	2	62
保健室発行	7	41	39	48	74	5	11	11	3	27	21	12	299
合 計	7	528	263	198	215	139	132	50	80	132	76	138	1958

図 3-8 月別健康診断証明書発行状況



4) 実習参加学生の為の免疫証明書受け取り及び発行状況

教育実習に参加する学生は、在学期間中に教育機関等の関連機関で実習を受けることが義務付けられています。実習機関には、感染症に対するハイリスク者が多く、お互いに感染しない、感染させないことが重要です。

特に感染力の強い麻しん・風しんに関しては、定期予防接種を2回完了しているか、確かな罹患歴がある人は抗体検査にて大学が基準とする抗体価があるか、「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」の提出を求めています。

人間教育学部の学生は、入学時の提出書類として提出するよう指導し図4-1に示す通り90.5%の学生が提出しています。また、他学部の教職課程希望者は、登録制の為登録後提出した学生は、図4-3の通り100%提出しています。図4-2に示す通り人間教育学部の学生では、定期接種の不足分のワクチンを入学までに接種した学生が14名いました。

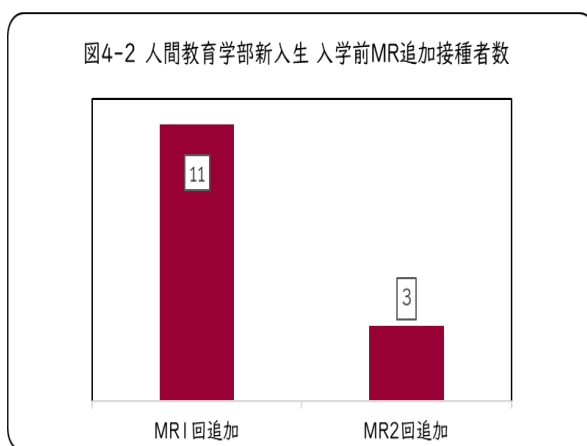
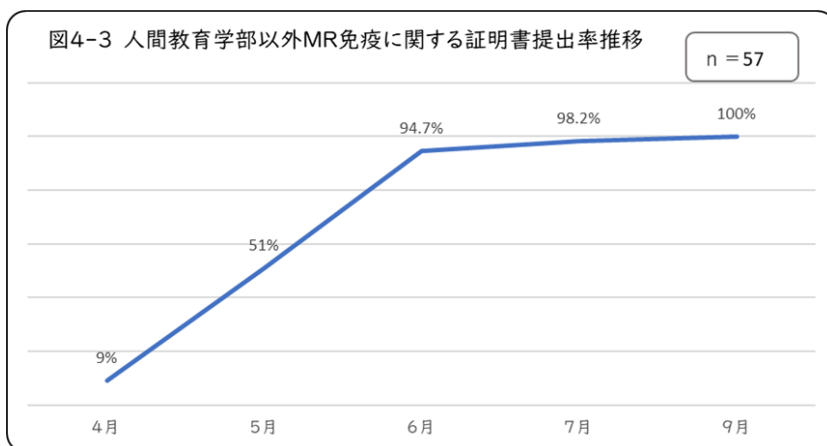
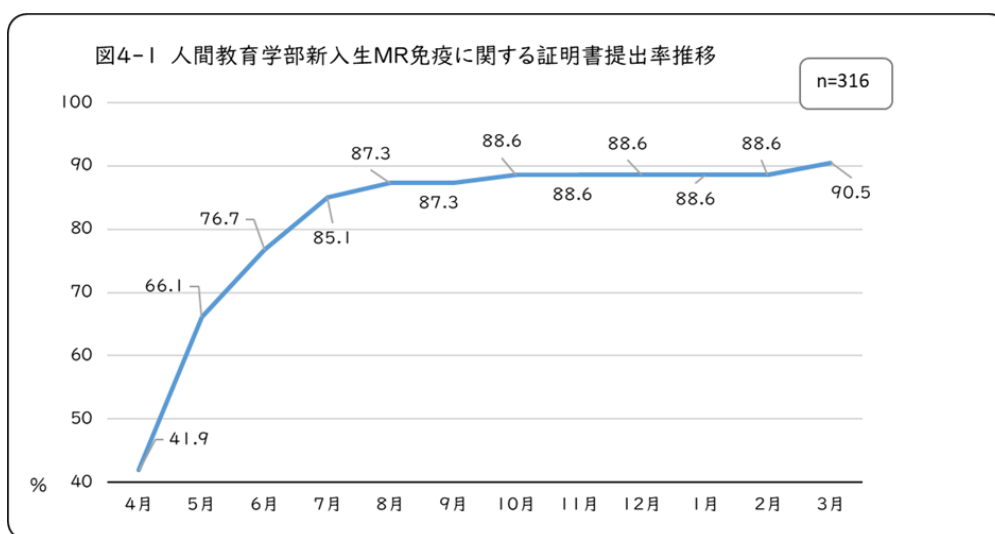


表4-1 月別免疫に関する証明書発行状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
教育実習(人間教育学部)	3	5	10	4	2	0	0	0	1	21	5	0	51
介護等体験	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	44
ソーシャルワーク実習	0	2	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	9
合計	3	7	13	7	46	0	1	0	1	21	5	0	104

Ⅲ 教 職 員 の 健 康 管 理

Ⅰ 定期健康診断

教職員の定期健康診断は、年に1回労働安全衛生法第66条、および学校保健安全法に基づき下記の要領で実施し、労働基準監督署に「定期健康診断結果報告書」を提出している。教職員の健康状態を、作業環境等の変化を踏まえ把握した上で、保健指導、健康管理、作業環境管理に役立て、常に健康で働けることを目的としている。

Ⅰ) 定期健康診断実施要項

表Ⅰ-Ⅰ 教職員定期健康診断実施要項

	対象者	実施項目	実施期間
Ⅰ 次 検 診	教職員全員	胸部X線直接撮影 血液検査 尿検査 聴覚検査 視力検査 血圧測定 内科診察 身体計測（身長・体重・腹囲） 心電図検査	10月17日（金） 受付AM8:00～PM12:30 10月20日（月） 受付AM8:00～PM12:30 10月21日（水） 受付AM8:00～PM12:30
	希望者のみ	胃部X線透視撮影 腫瘍マーカー 便検査 眼底検査 腹部エコー検査	
Ⅱ 次 検 診	Ⅰ次検診 有所見者	専門医療機関へ紹介	

表Ⅰ-2 血液検査項目

生化学的	血清学的	血液学的
AST、ALT、γ-GPT 総蛋白、アルブミン 総コレステロール LDLコレステロール、中性脂肪 HDLコレステロール、尿酸 BUN、Cr、e-GFR 空腹時血糖、HbA1c	CRP定量	白血球、赤血球、ヘマトクリット 血色素量、MCV、MCH MCHC、色素指数 全血比重

Ⅱ) 定期健康診断受診状況及び事後措置

表Ⅰ-3 教職員定期健康診断受診状況一覧

所属	対象者数	検 査 項 目											定健受診 実数 (A)	外部医療 機関 (B)	合計 (A)+(B)
		X線	身体計測	聴力	眼底	内科	血圧	血液	尿	胃X線	心電図	便検査			
教員	217	受診数	184	187	187	174	187	187	185	78	187	137	158	29	187
		受診率 (%)	84.8	84.3	86.2	80.2	86.2	86.2	85.3	35.9	86.2	63.1	72.8	13.4	86.2%
職員	174	受診数	163	164	162	159	165	165	163	60	163	114	151	14	165
		受診率 (%)	93.7	94.3	93.1	91.4	94.8	94.8	93.7	34.5	93.7	65.5	86.8	8.0	94.8
合計	391	受診数	347	351	349	330	352	352	348	135	350	248	309	43	352
		受診率 (%)	88.7	89.8	89.3	84.4	90.0	90.0	89.0	34.5	89.5	63.4	79.0	11.0	90.0

表 1-4 定期健康診断有所見率

項 目	有所見率 (%)		
	教員	職員	全体
B M I	25.8%	24.8%	25.4%
聴力 (1000H z)	2.2%	2.4%	2.3%
聴力 (4000H z)	4.3%	5.5%	4.8%
胸部X線検査	0.0%	1%	0.3%
血圧	23.1%	14.5%	19.1%
貧血検査	5.9%	7.3%	6.6%
肝機能検査	17.2%	19.4%	18.2%
血中脂質検査	26.3%	25.5%	25.9%
血糖検査	12.4%	8.5%	10.5%
尿検査 (糖)	4.8%	2.4%	3.7%
尿検査 (蛋白)	2.2%	1%	1.4%
心電図検査	0.5%	0.6%	0.6%
胃X線検査※	1.3%	1.7%	1.5%
眼底検査※	1.2%	0.0%	0.6%
便潜血※	5%	3.5%	4.4%
所見のあった割合	64.5%	56.4%	60.7%
要医療者率	7.5%	6.7%	7.1%

※印は希望者のみ実施

表 1-5 BMI 別 血液検査判定基準

貧血	Hb	男性	13.0以下
		女性	12.0以下
脂質	TG		300以上
	LDL		140以上
	HDL		39以下
肝機能	GOT		36以上
	GPT		41以上
	γ-GTP		81以上
血糖	GLU		110以上
	HbA1c		6.0以上
尿酸	UA		2.0以下8.0以上
血圧	収縮期		140以上
	拡張期		90以上

表1-6 メタボリックシンドローム診断基準

必須項目	+	検査項目	判定値
腹囲 男性：85 c m以上 女性：90 c m以上 内臓脂肪面積 100cm ² に相当	2 3 項 項 目 目 以 の 上 内	血糖値	空腹時血糖：110m g / d l
		脂質	中性脂肪150m g / d l
			又はHDL40mg/dl未満
		血圧	収縮期130mm g 以上
			又は拡張期85m m h g 以上

図 1-1 教職員別受診率推移グラフ

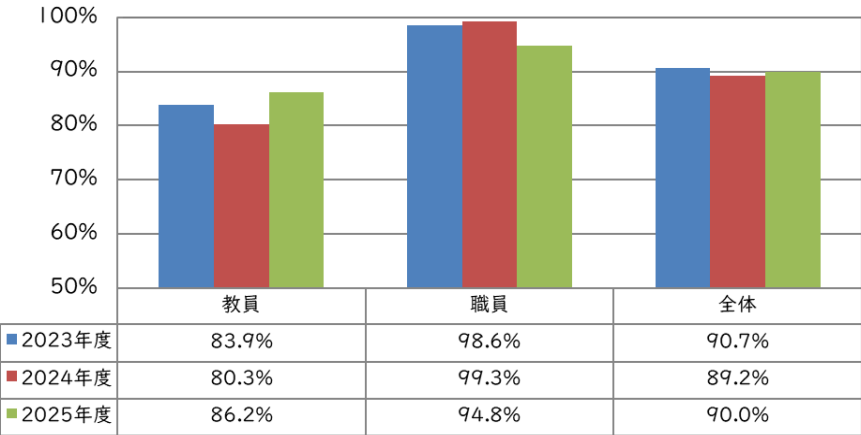


図1-2 肥満判定者の有所見割合

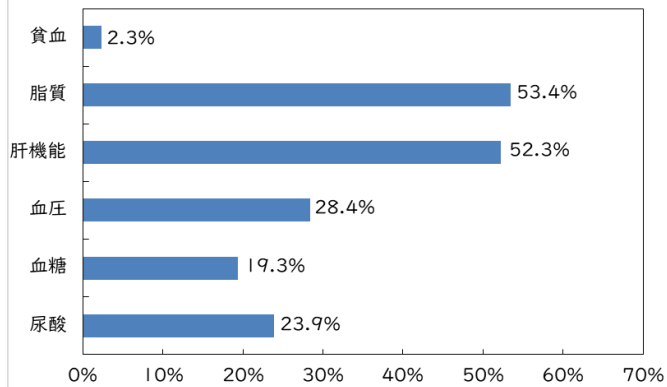


図1-3 普通判定者の有所見割合

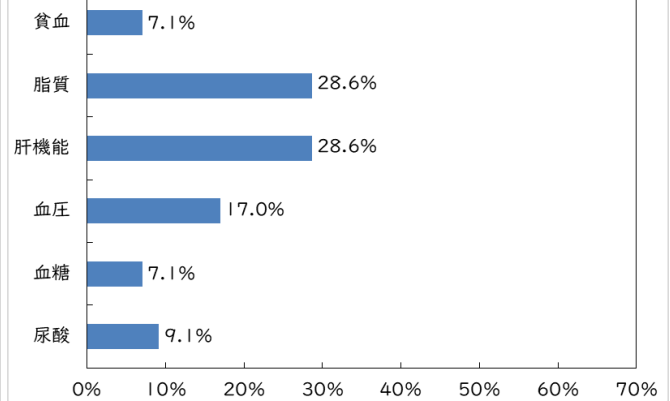
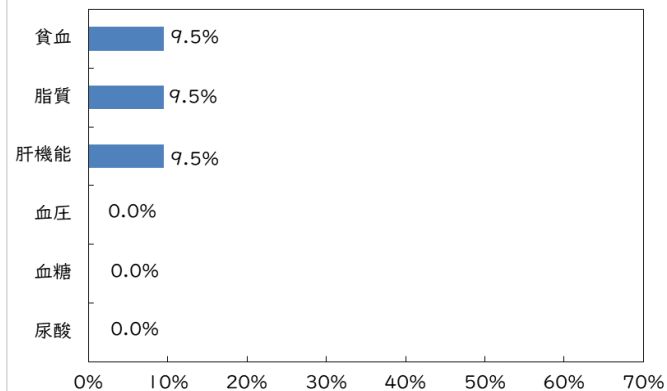


図1-4 やせ判定者の有所見割合



特定健診・保健指導の判定基準

表1-8 ステップ1 内臓脂肪蓄積に着目してリスク判定

タイプA	腹囲：男性85cm以上 女性90cm以上
タイプB	腹囲：男性85cm未満 女性90cm未満で BMI25以上

表1-9 ステップ2 特定健診診断基準 (ステップ1該当者のなかから以下の基準値で抽出)

①血糖	空腹時血糖 100mg/dl以上 又は HbA1c 5.6%以上 又は 随時血糖 100mg/dl以上
②脂質	中性脂肪 150mg/dl以上 又は HDLコレステロール 40mg/dl未満
③血圧	収縮期血圧 130mmHg以上 又は 拡張期血圧 85mmHg以上
問診表	喫煙歴あり (①～③で1つ以上ある場合のみリスクに追加)

表1-10 ステップ3 特定健診判定による保健指導対象者の選定

項目	追加リスク（検査値異常）	④喫煙歴	特定保健指導項目	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40-64歳	65-74歳
腹囲 85cm以上（男性） 90cm以上（女性）	2つ以上該当		積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり		
			なし	
上記以外で BMI25以上	3つ該当		積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり		
			なし	
		1つ該当		

図1-5 特定健診対象者（40歳以上）の有所見率（男性）

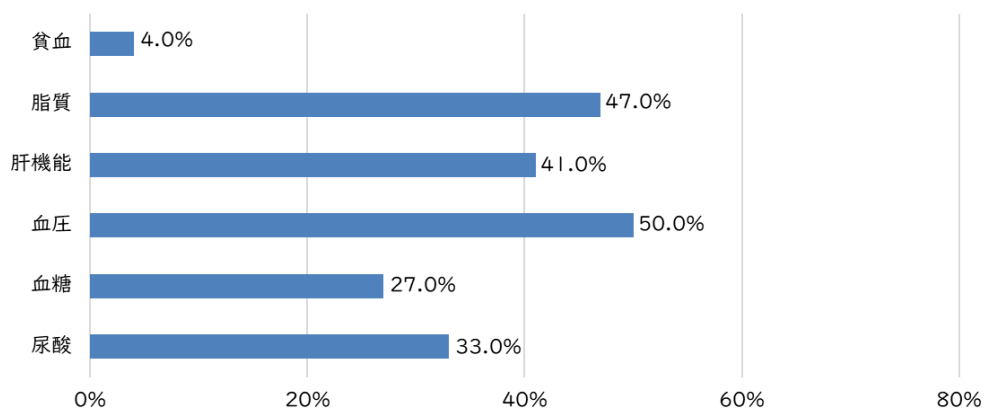


図1-6 特定健診対象者（40歳以上）の有所見率（女性）

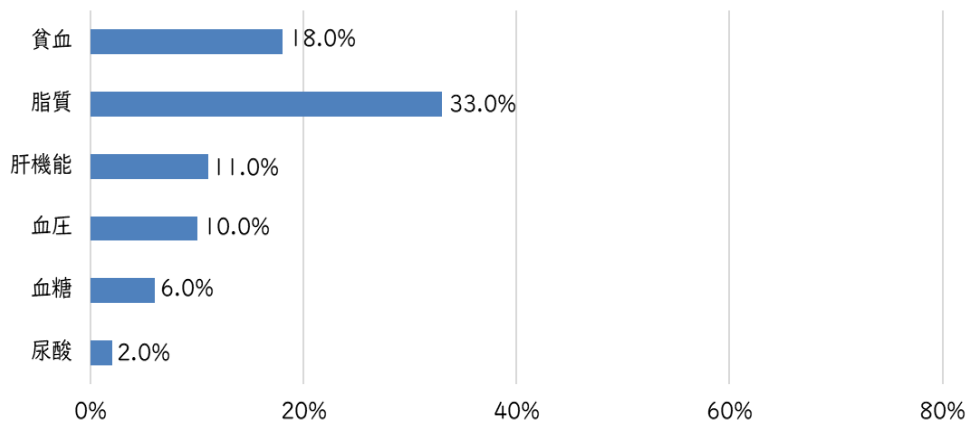


図1-7 特定保健指導区分別分類（男性）

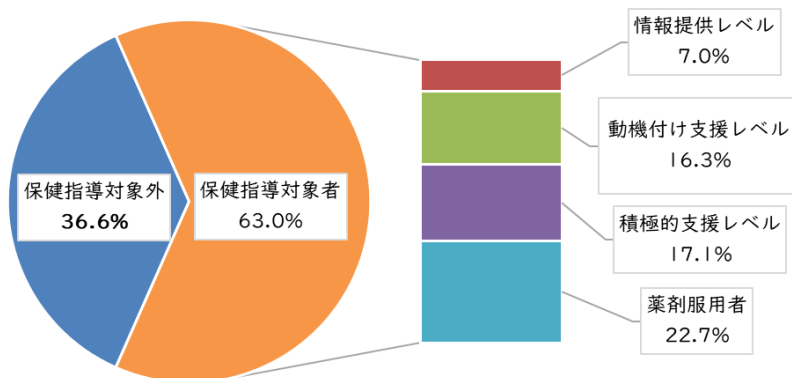
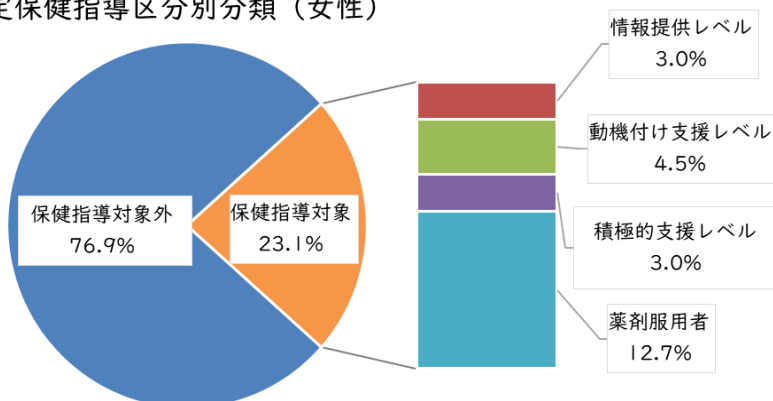


図1-8 特定保健指導区分別分類（女性）



2 保健室利用状況

1) 救急処置

表 2-1 教職員月別保健室利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科 的	3	7	8	6	1	4	8	7	6	4	4	3	61
外 科 的	6	2	4	1	2	7	7	5	2	2	2	1	41
整 形 外 科 的	1	5	4	3	2	0	2	1	2	0	1	0	21
眼 科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
耳 鼻 咽 喉 科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
婦 人 科	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
皮 膚 科	0	2	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	9
口 腔 外 科	1	3	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9
静 養 室 利 用	1	2	0	1	0	0	2	1	1	1	0	1	10
健 康 相 談	9	2	11	6	8	13	29	39	26	12	8	11	174
(身 体 的)	8	2	10	5	8	13	26	38	24	12	8	11	165
(精 神 的)	1	0	1	1	0	0	3	1	2	0	0	0	9
医 療 機 関 へ の 紹 介	1	4	6	3	0	0	8	16	18	0	1	0	57
小 計	25	28	40	22	15	24	57	69	57	19	17	16	389
内 科 検 診	13	0	1	1	0	14	10	53	59	18	0	0	169
ス ポ ー ツ 整 形 受 診	1	1	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	7
精 神 科 受 診	0	0	0	2	0	0	3	2	1	1	0	0	9
尿 検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心 電 図	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
合 計	39	29	41	27	15	38	70	128	120	38	17	16	578

図2-1 教職員月別処置件数

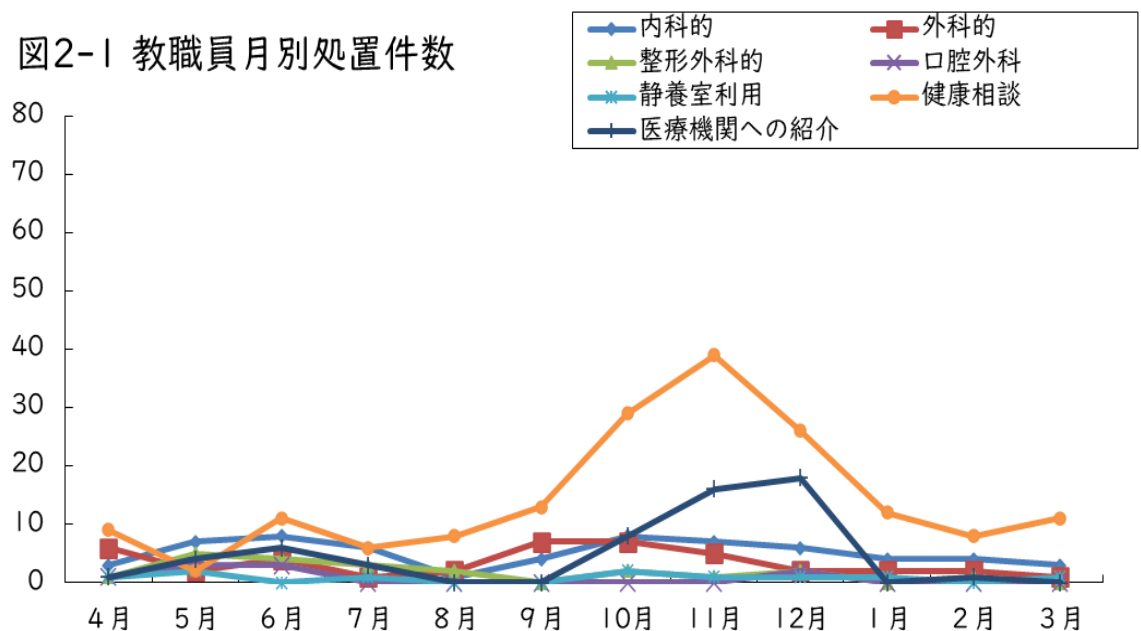


図2-2 疾患別応急手当の内訳

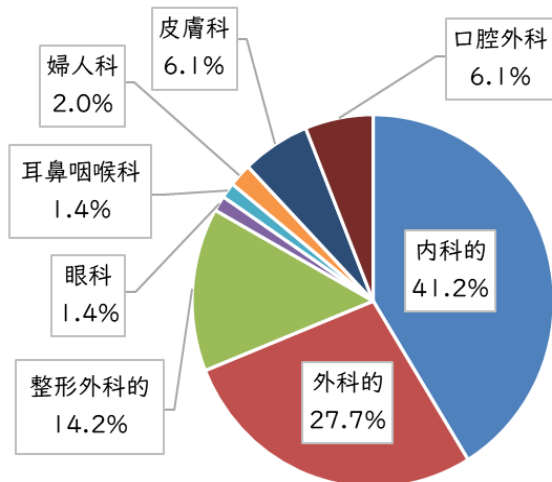


図2-3 内科的症状内訳

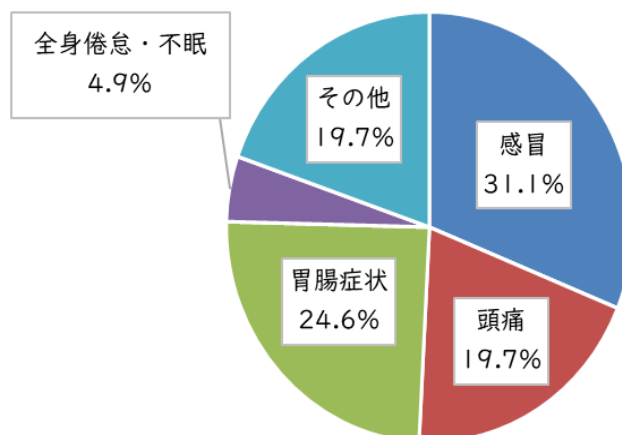


図2-4 外科的症状の内訳

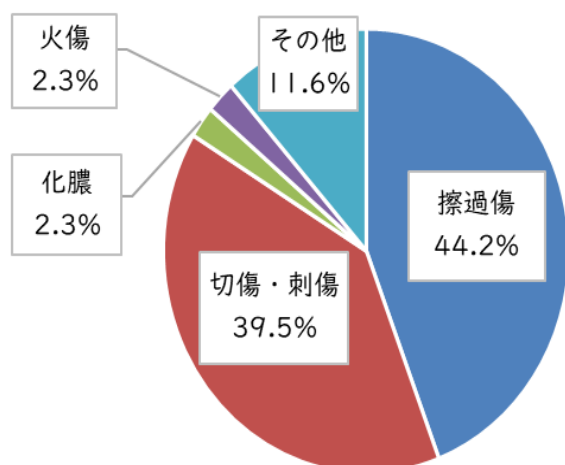
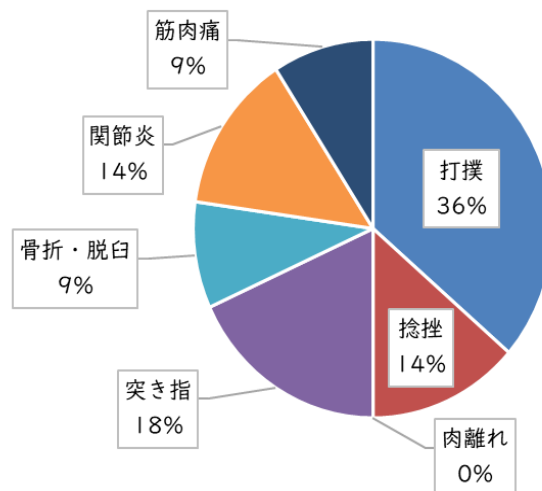


図2-5 整形外科的症状の内訳



Ⅳ 第63回全国大学保健管理研究集会一般研究発表

「教育実習生の麻しん・風しんの免疫に関する証明書」

桃山学院大学 学生支援課 保健室

○今井 敏子、飯田 真理、近藤 洋子、泉谷 良

キーワード： 1、入学前書類 2、MR 証明書 3、MR 抗体価

はじめに

2025 年 4 月より桃山学院大学は、桃山学院教育大学と統合し、人間教育学部を新学部として開設しました。人間教育学部学生の教育実習は、必須科目であるため、麻しん・風しんの免疫確認は不可欠です。桃山学院教育大学では、2019 年度より入学時全員へ抗体検査を実施していましたが、本学では、教職課程委員会において教職課程を登録し、実習に参加する学生は、「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」を提出することを義務付けています。よって、人間教育学部学生へは、入学時の必要書類として「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」の提出を求めました。

方法

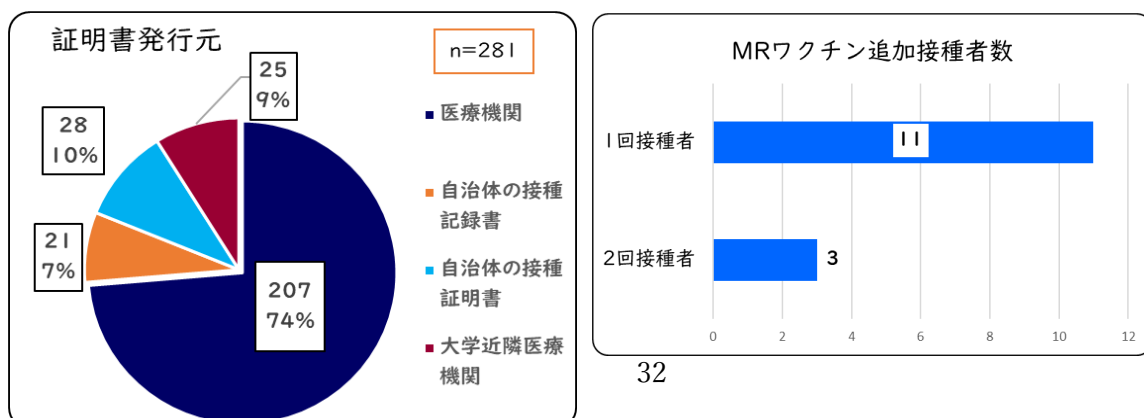
新入生対象の ID とパスワードが必要になる Web サイトへ、人間教育学部学生が、入学時に提出する書類の一つに「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」のページを掲載しました。ページの内容は、提出の必要性、作成手順を説明したフローチャート及び「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」が掲載されます。各自証明書のひな形をダウンロードして、医療機関に作成を依頼し、保健室へ直接提出するよう案内しました。

結果

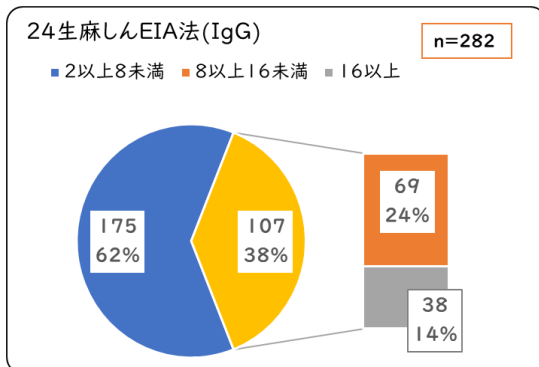
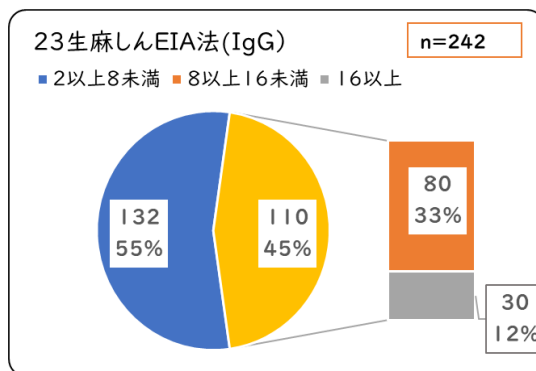
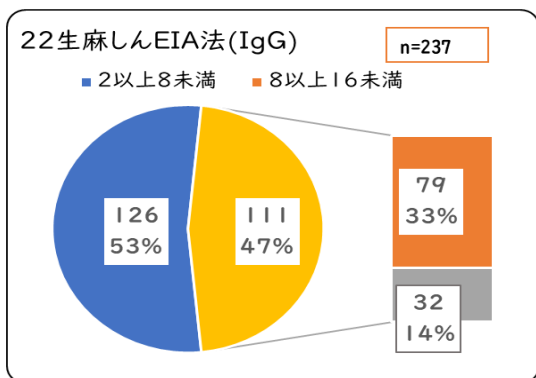
「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」提出の必要性や、証明書作成手順などフローチャートのみで理解していただけたか危惧しましたが、証明書作成に関しての問い合わせ件数は 42 件と少なく、殆どが保護者からの問い合わせでした。問い合わせ内容より、医療機関で発行を拒否される事例や自治体によっては、接種記録が法定の保存期間 5 年を過ぎて保管されていない事例があることが判明しました。

回収率は、2025 年 8 月までに 88% の学生が提出しています。大学指定の書式で提出されたものは 83% あり、内 9% が入学後保健室から紹介を受けた医療機関で発行されています。市区町村から発行された接種証明書及び接種記録は 17% でした。また、不足分の MR ワクチンの追加接種を受けた学生は、14 名いました。

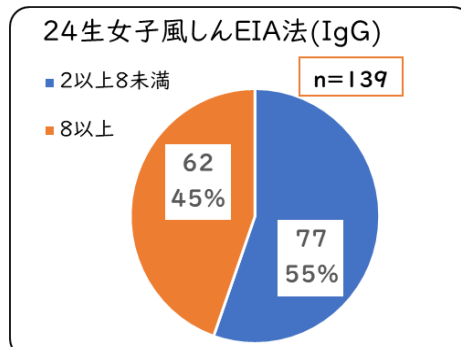
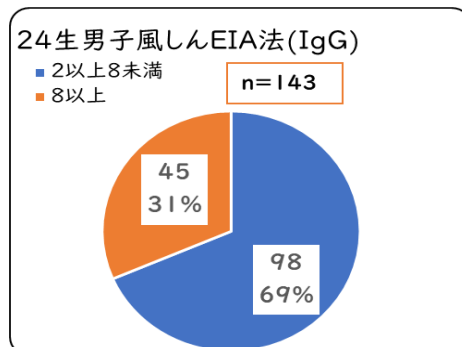
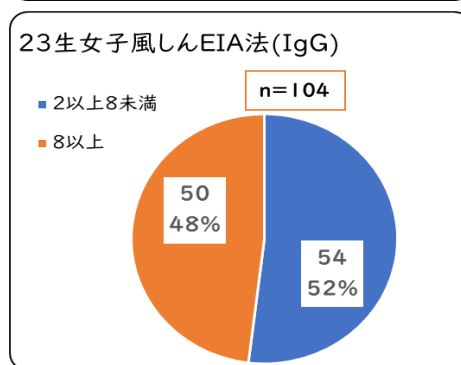
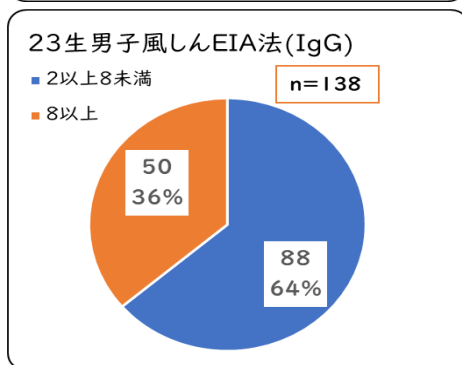
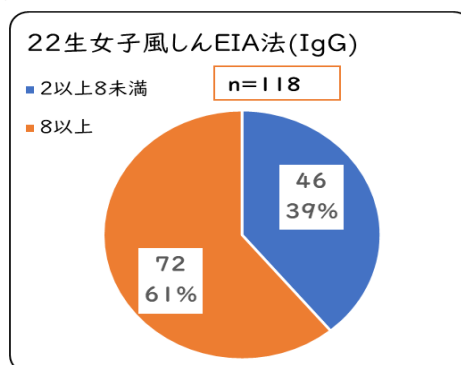
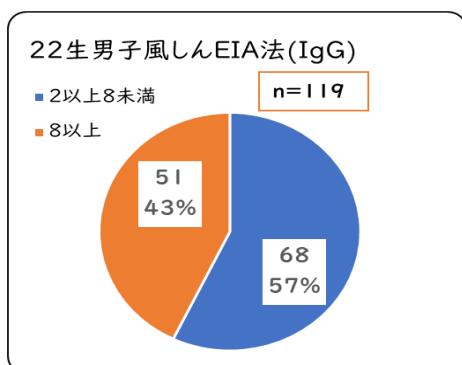
22 生から 24 生の麻しん抗体検査 IgG EIA 法の結果をみると、全ての学年で陽性ですが、抗体価 8 以上は半数以下、十分な抗体価として期待できる 16 以上¹⁾は、12～14% でした。風しんの抗体価は、いずれの学年も十分な抗体価として期待できる 8 以上¹⁾は男子より女子に多いが、2 以上 8 未満の学生は 22 生の女子を除いて半数以上でした。



■ 22生～24生の麻疹抗体検査 IgG EIA 法



■ 22生～24生の風しん抗体検査 IgG EIA 法



入学年	生まれ年	ワクチンの種類
2022年	2003年	第1期:麻しん・風しん
		第2期:MR
2023年	2004年	第1期:麻しん・風しん
		第2期:MR
2024年	2005年	第1期:MR
		第2期:MR
2025年	2006年	第1期:MR
		第2期:MR

考察

入学書類の一つとして「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」の提出を義務付けることは、主に保護者の協力があり、効率的な回収が可能となります。また、MR ワクチン2回接種を完了していない学生に対する接種勧奨の機会となり、入学前に接種完了することを促進しました。

桃山学院教育大学で実施された2年生～4年生を対象とした麻しん・風しん抗体検査では、相当数の学生が十分な抗体価に達していないことがわかりました。

実習において抗体検査結果が必須でない場合は、1才以上で2回接種済みであるか、2回接種の完了を勧奨することが望ましいと考えます^{1) 2)}。

証明書の発行に関しては、医療機関の対応により母子手帳から転記することを拒まれるケースや、市区町村では、保存期間を過ぎて保存されていないケースがあります。このため、入学後も証明書発行の支援が必要となりました。したがって、大学周辺の医療機関との連携は不可欠です。この連携により、母子手帳等の予防接種記録を大学指定の「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」へ医師により転記してもらうことが可能となり、また2回接種を完了していない学生へ、不足分のワクチン接種が受けられるようサポートすることが可能となります。今後、母子手帳の電子化が多くの自治体で導入され、入学時にマイナポータルより、定期接種記録を確認出来るようになることに期待したいと思います。

参考文献

- 1) 医療・福祉・保育・教育に関わる実習学生のための予防接種の考え方 第3版.日本小児保健協会予防接種・感染症委員会 2018年8月.p5-7
- 2) 医療関係者のためのワクチンガイドライン第4版.日本環境感染学会誌第39巻 Supplement II 令和6年11月25日発行.S6-S11

編集後記

2025 年度は、桃山学院教育大学を統合し、人間教育学部を新学部として開設するという大きな節目を迎えました。統合に伴い、新たに約 1,100 名の学生と約 100 名の教職員が加わり、新体制のもとでスタートを切った 2025 年度の「保健室年間活動報告書」をここにお届けいたします。

特に今年度、最重要課題として取り組んだのが、将来の教育界を担う学生たちの教育実習における医療安全の担保です。教育実習が必須科目である人間教育学部の学生たちにとって、麻疹・風疹への免疫獲得は不可欠な医療安全対策です。今年度は入学前段階から「麻しん・風しんの免疫に関する証明書」の提出を求めるという新たな試みを実施いたしました。新入生にとって新生活への移行期という多忙な時期でしたが、学生および保護者の皆様の高い責任感と教職員の方々のアナウンスにより、統合初年度の過渡期でありながら、最終的に 90%という高い提示率を達成することができました。

この免疫に関する証明書の提出状況については、教育実習センターとリアルタイムで情報を共有し、全学的な管理体制を敷いております。実習先に対する社会的責任を果たす上で、この組織間連携は大きな意義を持つものと確信しております。今後は残る 10%の未提出学生に対し、同センターと緊密に協力しながら、追加接種の勧奨など、実習開始に向けた啓発活動に粘り強く取り組んでまいります。大きな組織改編の中でありながら、確かな成果を残すことができたのは、ひとえに日々の保健活動にご協力いただきました皆様のおかげです。心より深く御礼申し上げます。

私事ではございますが、29 年間保健室で勤務してまいりましたが、2025 年度末をもって退職を迎えます。力不足であったことも多々あったと思いますが、学生・教職員の皆様の健康管理の一助となることができたのであれば幸いです。29 年を振り返ると、結核接触者検診や、2003 年の SARS（重症急性呼吸症候群）、2007 年の成人麻疹、2009 年の新型インフルエンザ、2019 年末からの新型コロナウイルス感染症など、地域最大の集団生活の場でクラスターを発生させないための対応が深く記憶に残っています。このような感染症危機管理では、正しい情報収集と迅速な初動対応が重要です。そのため、所轄の保健所や大阪府感染症チームの方々へ相談することも多々ありましたが、電話口でもお互いの顔が思い浮かぶような緊密な関係性を築けていたことは、大変心強いものでした。これは長年保健室で勤めることができたからこそその財産であり、このような経験やネットワークも含めて、後任には引き継いでまいります。

無事に今日まで勤め上げることができましたのも、日々の保健活動にご理解と多大なご協力をいただきました関係各位の皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。保健室の今後におきましても、皆様方の温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、第 30 号の編集に際し、お忙しい中ご協力くださいました皆様方に、心よりお礼申し上げます。

2026 年 3 月 看護師 今井 敏子